

瑞穂市 市民アンケート
調査結果報告書

平成27年3月

瑞穂市

目次

1	調査の概要	
	(1) 調査の目的.....	1
	(2) 調査の項目.....	1
	(3) 調査の設計.....	1
	(4) 回収状況.....	1
	(5) 報告書の標記方法について.....	1
2	調査結果の分析	
	(1) あなた自身のことについて.....	2
	①性別.....	2
	②年齢.....	2
	③家族構成.....	2
	④職業.....	3
	⑤居住年数.....	3
	a. 転入前の居住地について.....	4
	b. 転入される以前の瑞穂市への居住有無.....	5
	⑥居住地（小学校区）.....	5
	(2) 市への愛着・定住意向.....	6
	①市への愛着度.....	6
	②市への定住意向.....	7
	③市に定住したい理由.....	8
	④市に定住したくない理由.....	11
	(3) 今後の暮らしについて.....	14
	①今後10年間のまちづくりにおいて重点的に取り組むべき事項.....	14
	(4) 行政サービスについて.....	17
	①行政サービスの水準と市民負担のあり方.....	17
	②市の公共施設のあり方.....	18
	③重複施設について.....	19
	④今後のインフラのあり方について.....	20
	(5) 土地利用について.....	21
	①土地利用の仕方について.....	21
	②市の活性化に必要な土地利用について.....	24
	(6) 人口政策の方向性について.....	27
	①人口政策の考え方について.....	27
	②「まち・ひと・しごと総合戦略」として市が取り組むべき施策.....	28
3	問6及び自由意見	29
4	アンケート調査票	34

1 調査の概要

(1) 調査の目的

瑞穂市では、平成 18 年度からの 10 年間を期間とした瑞穂市第 1 次総合計画を策定しており、平成 27 年度に目標年次を迎えることから、平成 28 年度からの新たな市の方向性を示す瑞穂市第 2 次総合計画を策定する。この計画の策定にあたり、市民の意識・意向を把握し、計画策定の基礎資料とするため、市民を対象としたアンケート調査を実施した。

(2) 調査の項目

- ①あなた自身のことについて
- ②市への愛着・定住意向
- ③今後の暮らしについて
- ④行政サービスについて
- ⑤土地利用について
- ⑥人口政策の方向性について

(3) 調査の設計

調査対象：市内に居住する 18 歳以上の男女（平成 26 年 12 月 1 日現在、住民基本台帳に登録のある者）

対象者数：3,300 人

抽出方法：無作為抽出

調査方法：郵送法

調査時期：平成 27 年 2 月 6 日～2 月 23 日

(4) 回収状況

発送数	回収数※1	回収率※2
3,300 件	1,284 件	38.9%

※1 集計対象は 1,271 件 (38.5%)

※2 第 1 次総合計画策定時のアンケート（平成 16 年 9 月）回収率は 39.3%。
10 年後に行った今回のアンケート回収率は前回と同程度であった。

(5) 報告書の標記方法について

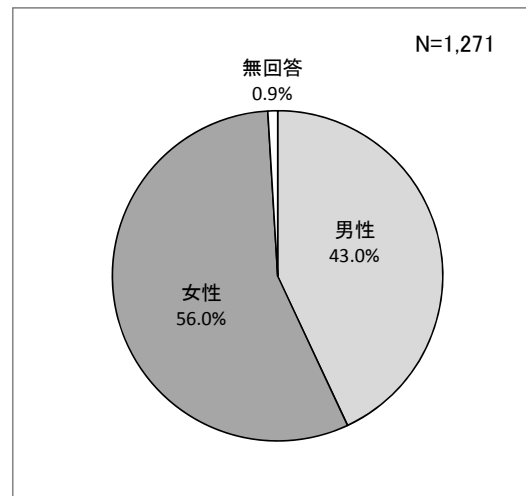
- ・整数（少数点のない数字）は、回答者数（「N」）を示す。
- ・図中の比率は、小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位まで記載している。少数点第 2 位の四捨五入などにより、比率（%）の合計が 100% とならない場合がある。
- ・複数回答の設問では、回答者全体を 100% として集計しているため、合計が 100% を超える。
- ・値が 0.0% の場合は、グラフへの表示を省略している。

2 調査結果の分析

(1) あなた自身のことについて

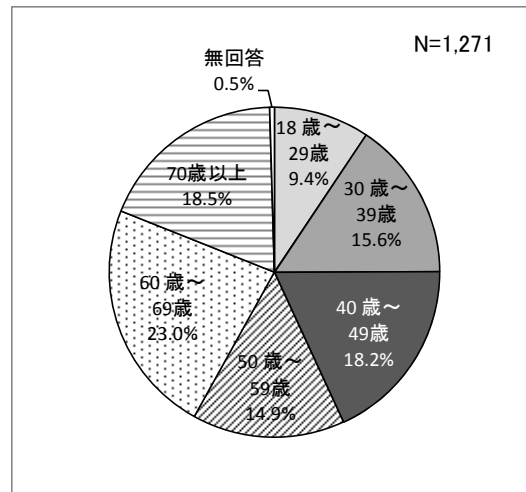
①性別

回答者の性別は、「男性」が 43.0%、「女性」が 56.0%となっている。



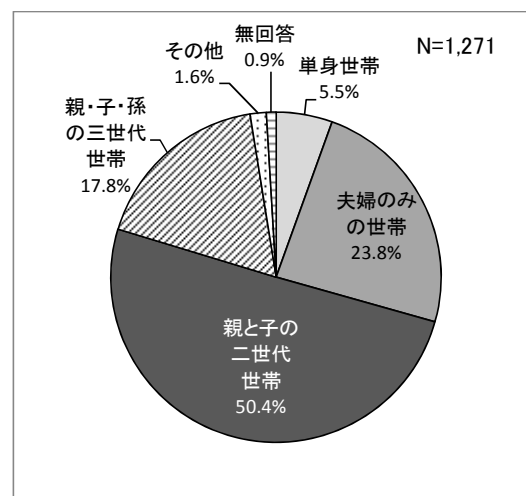
②年齢

回答者の年齢は、「60歳～69歳」が 23.0%と最も多く、次いで「40歳～49歳」が 18.2%、「70歳以上」が 18.5%、「30歳～39歳」が 15.6%、「50歳～59歳」が 14.9%、「18～29歳」が 9.4%となっている。



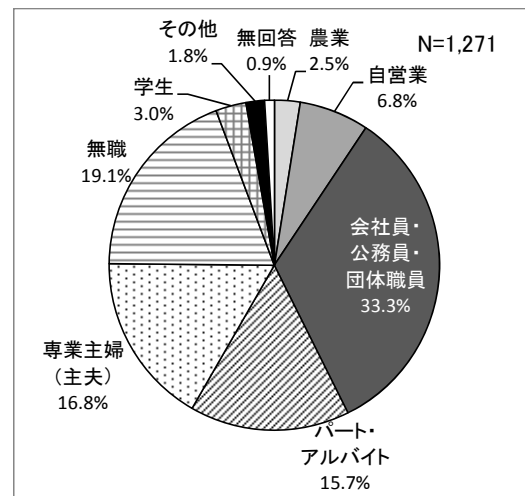
③家族構成

回答者の家族構成は、「親と子の二世帯世帯」が 50.4%と最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が 23.8%、「親・子・孫の三世帯世帯」が 17.8%、「単身世帯」が 5.5%となっている。



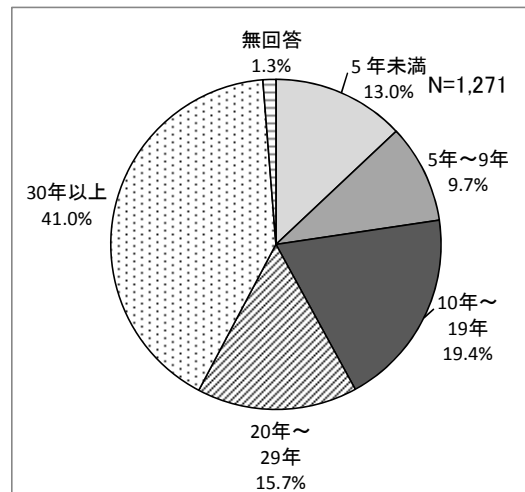
④職業

回答者の職業は、「会社員・公務員・団体職員」が33.3%と最も多く、次いで「無職」が19.1%、「専業主婦（主夫）」が16.8%、「パート・アルバイト」が15.7%となっている。



⑤居住年数

回答者の居住年数は、「30年以上」が41.0%と最も多く、次いで「20年～29年」が15.7%、「10年～19年」が19.4%、「5年未満」が13.0%、「5年～9年」が9.7%となっている。

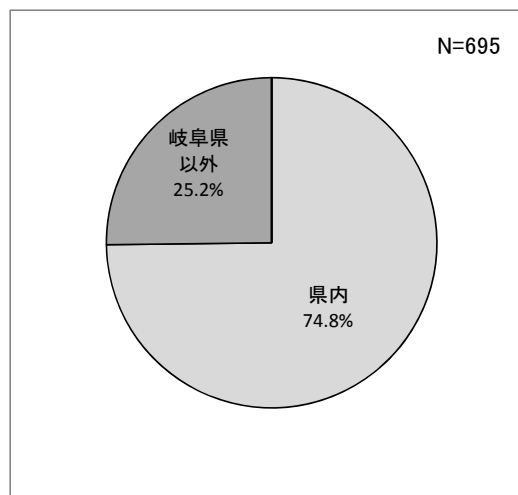


【市外から転入された方のみ回答】

a. 転入前の居住地について

市外から転入された方に転入前の居住地を聞いたところ、「県内」が74.8%、「岐阜県以外」が25.2%となっている。

居住地の内訳としては、県内では「岐阜市」が42.5%と最も多く、次いで「大垣市」が14.8%、「北方町」と「本巣市」がともに5.0%となっている。岐阜県以外では、「愛知県」が53.7%と最も多く、次いで「東京都」が5.7%、「静岡県」が5.1%となっている。



[県内]

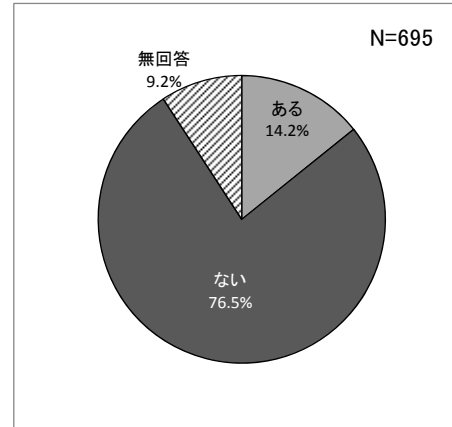
市町村名	回答者数	割合
岐阜市	221	42.5%
大垣市	77	14.8%
北方町・本巣市	各 26	各 5.0%
羽島市	19	3.7%
各務原市	15	2.9%
揖斐川町	9	1.7%
山県市	8	1.5%
安八町・大野町・高山市	各 7	各 1.3%
池田町・神戸町	各 6	各 1.2%
岐南町	5	1.0%
郡上市・関市・垂井町・養老町	各 4	各 0.8%
笠松町	3	0.6%
恵那市・可児市・下呂市・多治見市・美濃加茂市・八百津町・輪之内町	各 2	各 0.4%
海津市・川辺町・関ヶ原町・土岐市・御嵩町・美濃市・本巣郡・揖斐郡・安八郡	各 1	各 0.2%
無回答	39	7.5%
回答者数	520	

[岐阜県以外]

市町村名	回答者数	割合
愛知県	94	53.7%
東京都	10	5.7%
静岡県	9	5.1%
滋賀県・大阪府	7	4.0%
千葉県	6	3.4%
神奈川県・三重県	5	2.9%
宮城県・茨城県・埼玉県・京都府	3	1.7%
兵庫県・広島県・福岡県	2	1.1%
山形県・福井県・山梨県・奈良県・和歌山県・鳥取県・岡山県・徳島県・宮崎県	1	0.6%
愛知県・石川県	1	0.6%
埼玉県・奈良県	1	0.6%
無回答	3	1.7%
回答者数	175	

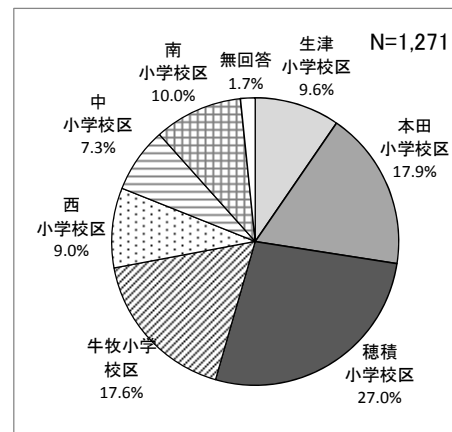
b. 転入される以前の瑞穂市への居住有無

転入される以前にも瑞穂に居住していたかどうかについては、「ある」が14.2%、「ない」が76.5%となっている。



⑥居住地（小学校区）

回答者の居住地は、「穂積小学校区」が27.0%と最も多く、次いで「本田小学校区」が17.9%、「牛牧小学校区」が17.6%、「南小学校区」が10.0%、「生津小学校区」が9.6%、「西小学校区」が9.0%、「中小小学校区」が7.3%となっている。



(2) 市への愛着・定住意向

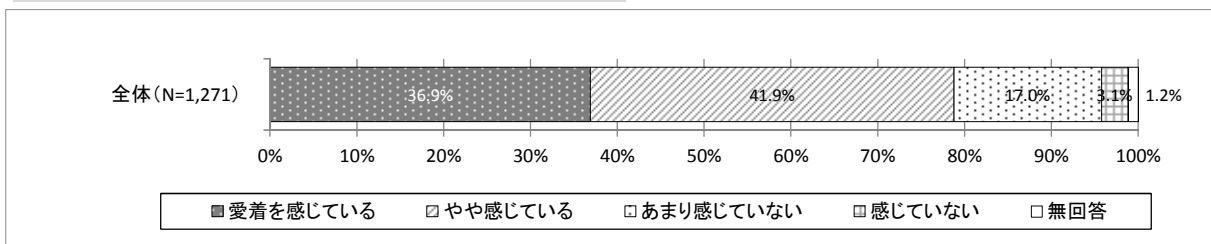
①市への愛着度

市への愛着については、「愛着を感じている」が36.9%、「やや感じている」が41.9%となっており、両方をあわせて『愛着を感じている』(以下同様)が78.8%となっている。一方で、『感じていない』(「あまり感じていない」+「感じていない」、以下同様)は20.1%となっている。

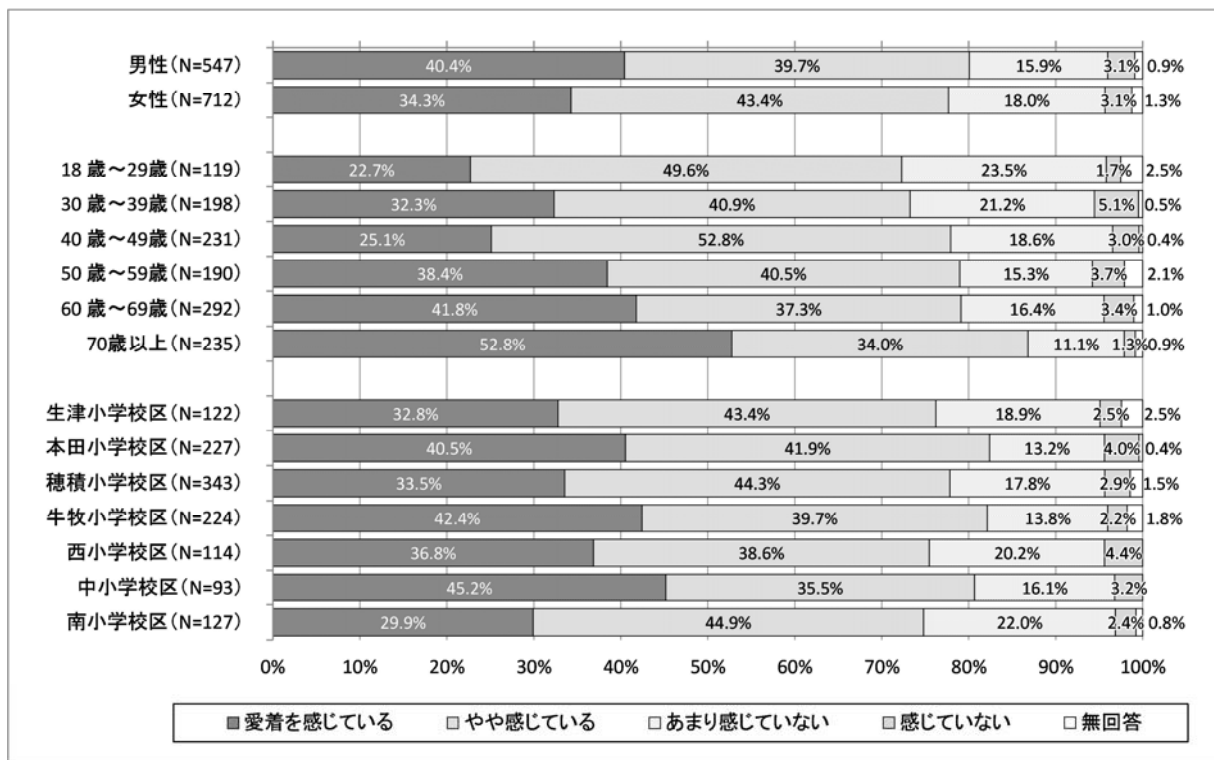
年齢別でみると、年齢が上がるほど『愛着を感じている』が多くなっている。

居住地別でみると、本田小学校区、牛牧小学校区、中小小学校区で『愛着を感じている』がやや多くなっている。

Q1 あなたは、瑞穂市に愛着をどの程度感じていますか？



(性別・年齢別・居住地別)



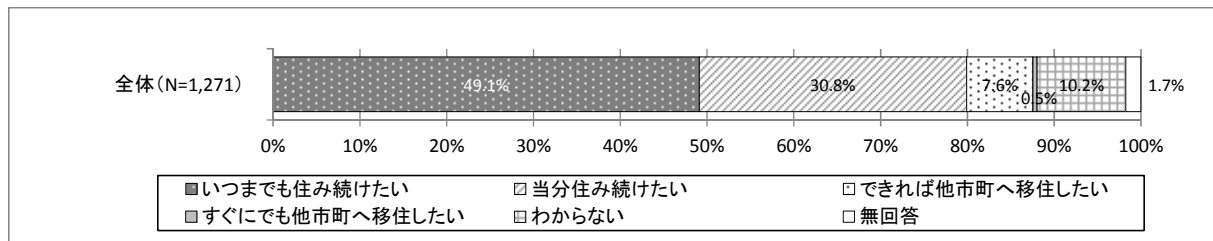
②市への定住意向

市への定住意向については、「いつまでも住み続けたい」が49.1%と最も多く、次いで「当分住み続けたい」が30.8%となっており、両方をあわせて『住み続けたい』(以下同様)が79.9%となっている。一方、「できれば他市町へ移住したい」は7.6%、「すぐにでも他市町へ移住したい」は0.5%と、両方をあわせて『住み続けたくない』(以下同様)は8.1%となっている。

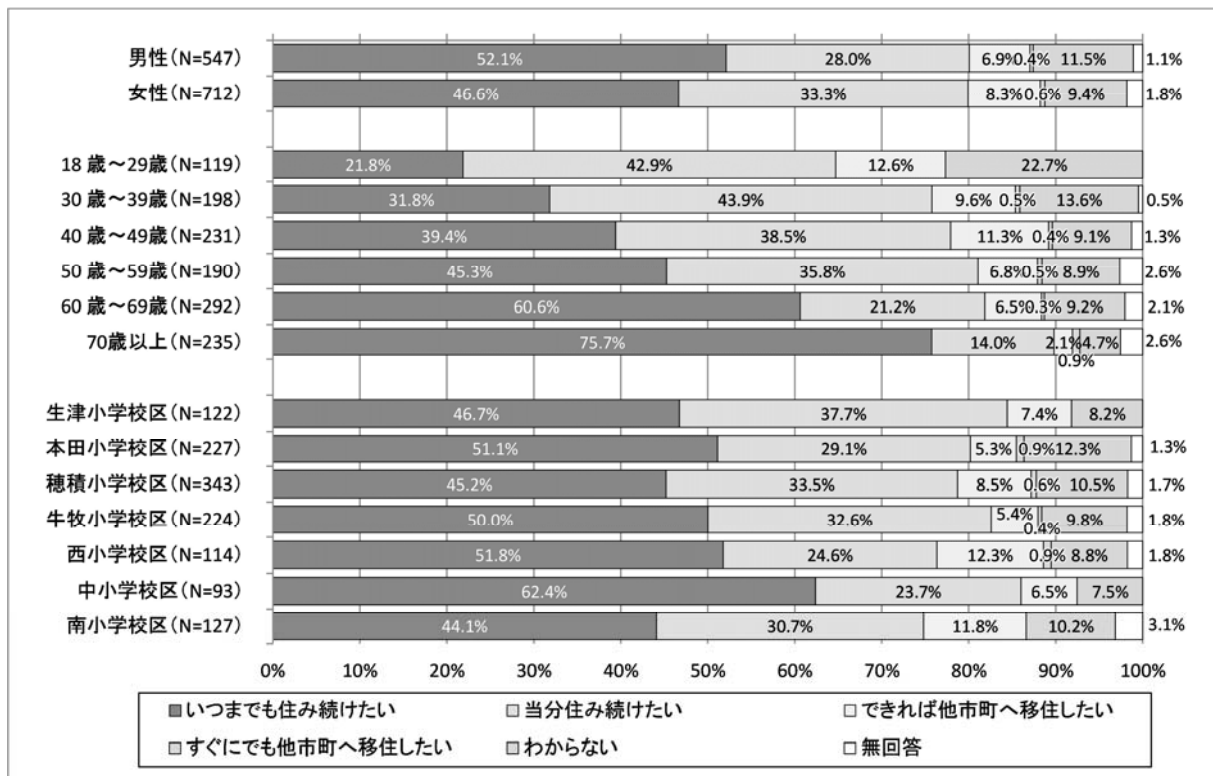
年齢別でみると、年齢が上がるほど『住み続けたい』が多くなっている。一方で、50歳未満では「できれば他市町へ移住したい」が10%前後と、50歳以上と比べて多くなっている。また、18歳～29歳では、他の世代よりも「わからない」が22.7%と多くなっている。

居住地別でみると、中小学校学区、生津小学校区、牛牧小学校区、本田小学校区では『住み続けたい』が80%を超えている。

Q2 あなたは、これからもずっと瑞穂市に住み続けたいと思いますか？



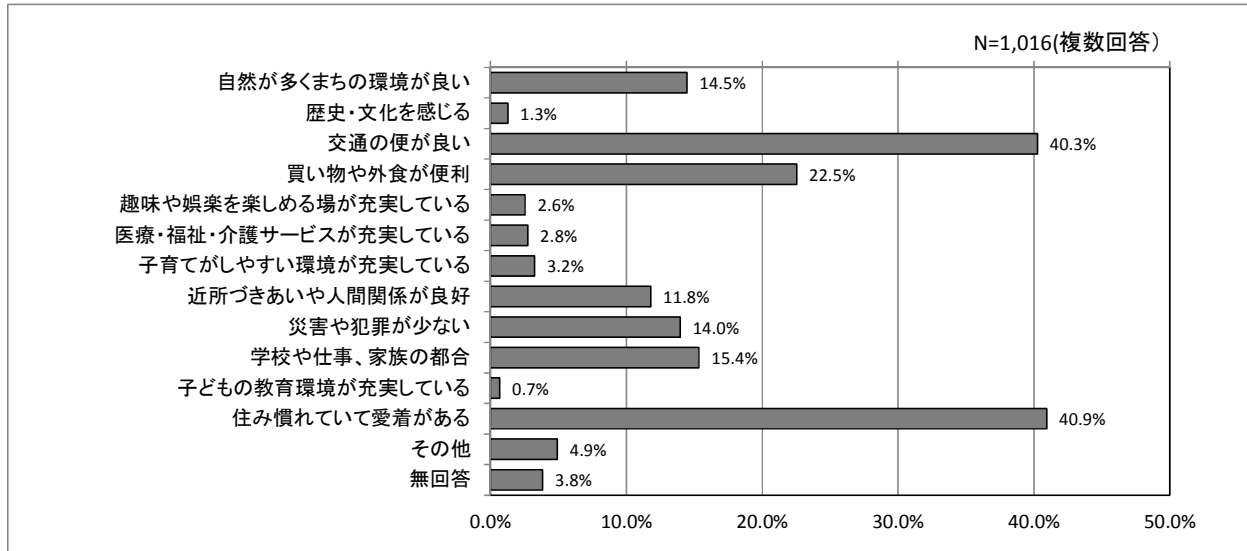
(性別・年齢別・居住地別)



③市に定住したい理由

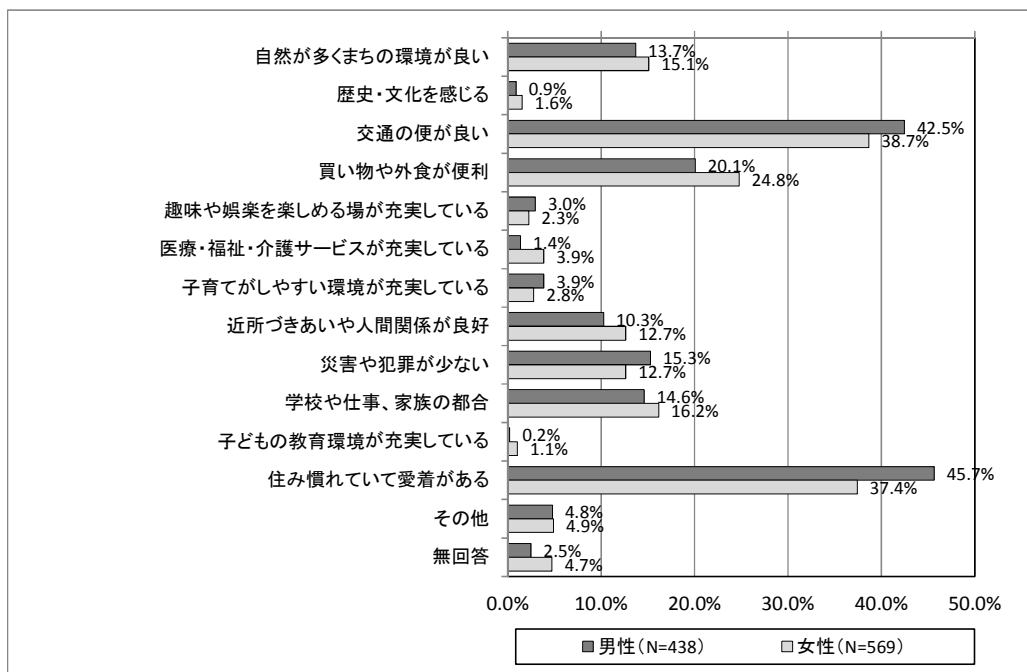
市に住み続けたい主な理由としては、「住み慣れていて愛着がある」が40.3%と最も多く、次いで「交通の便が良い」が40.9%、「買い物や外食が便利」が22.5%となっており、交通やお店などの利便性が評価されていることがわかる。

Q3 瑞穂市に住み続けたいと思う主な理由は何ですか？(あてはまるもの2つまで)



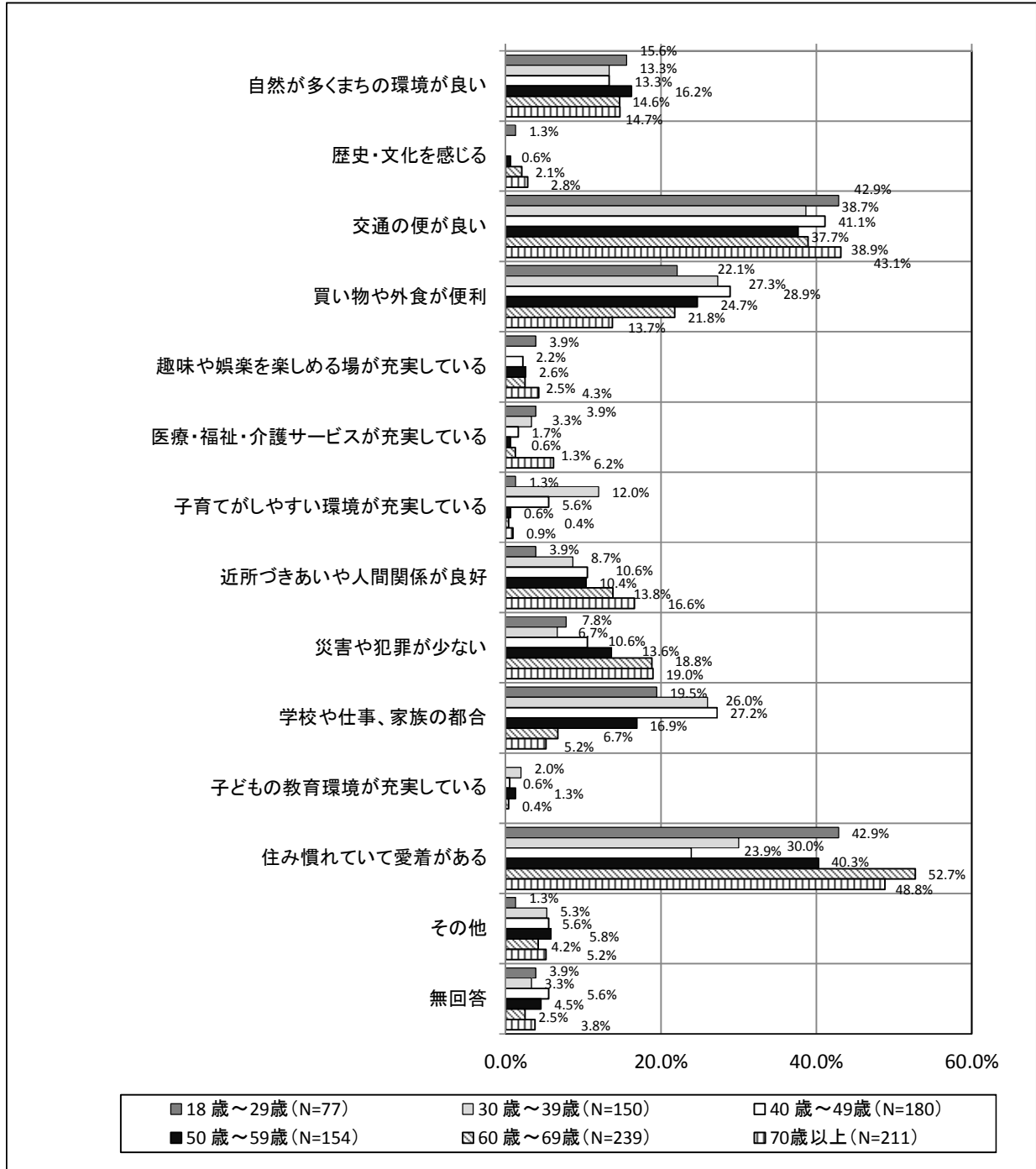
(性別)

性別でみると、「住み慣れていて愛着がある」と「交通の便が良い」では男性の方が高く、「買い物や外食が便利」は女性の方が高くなっている。



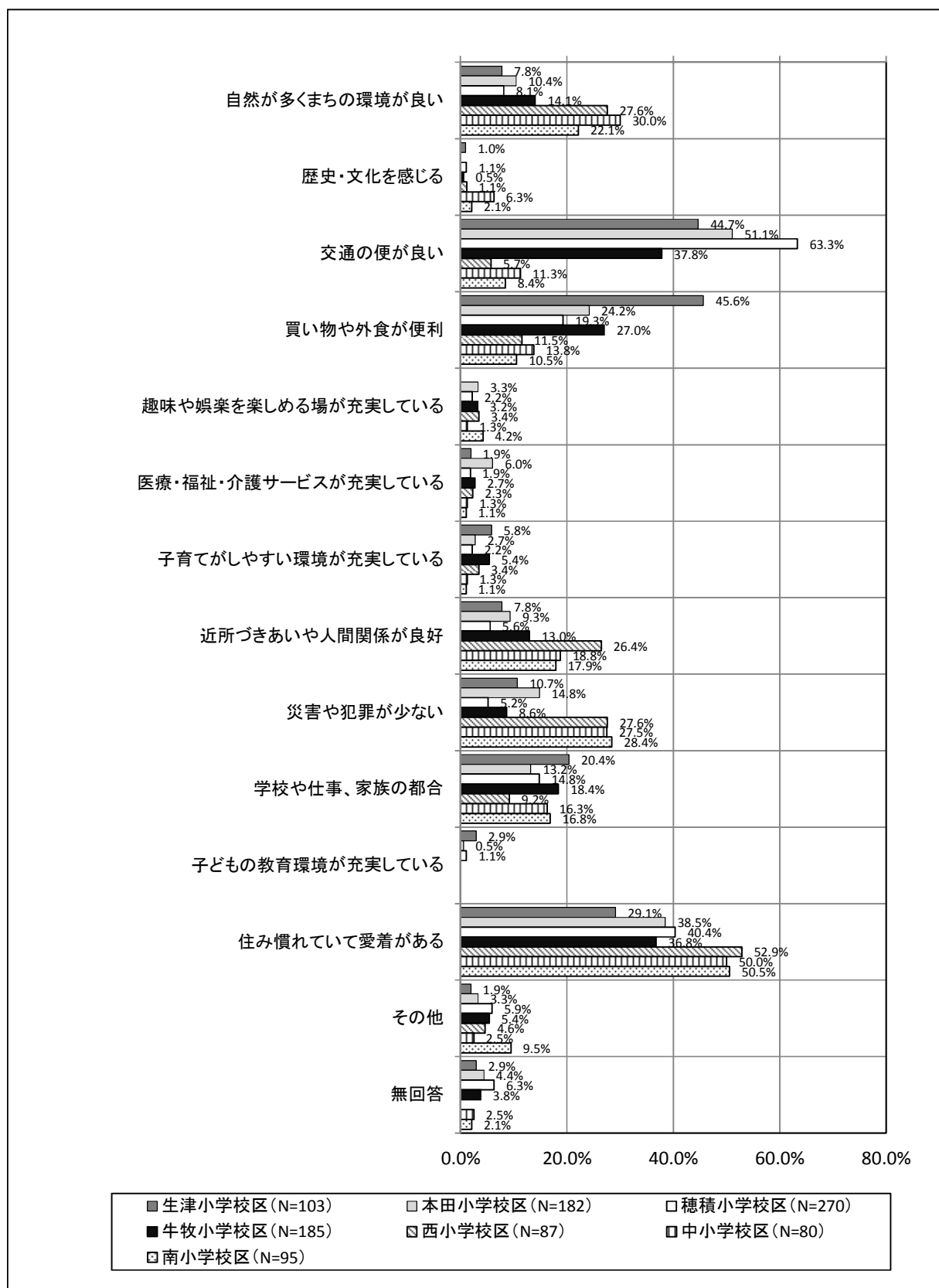
(年齢別)

年齢別でみると、「住み慣れていて愛着がある」は60歳以上で高く、「買い物や外食が便利」は30歳代、40歳代で高くなっている。また、「近所づきあいや人間関係が良好」や「災害や犯罪が少ない」は年齢が高くなるほど多くなっている。



(居住地別)

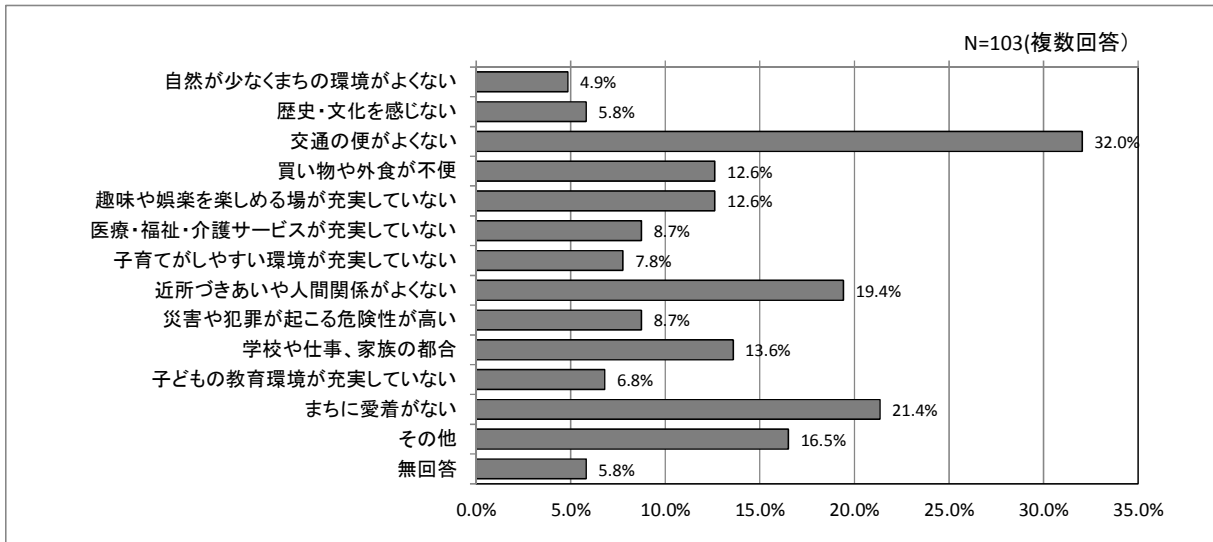
居住地別でみると、「住み慣れていて愛着がある」は西・中・南小学校区で高く、「交通の便が良い」は穂積・本田・生津・牛牧小学校区で高く、「買い物や外食が便利」は生津小学校区で高くなっており、地域による差がみられる。



④市に定住したくない理由

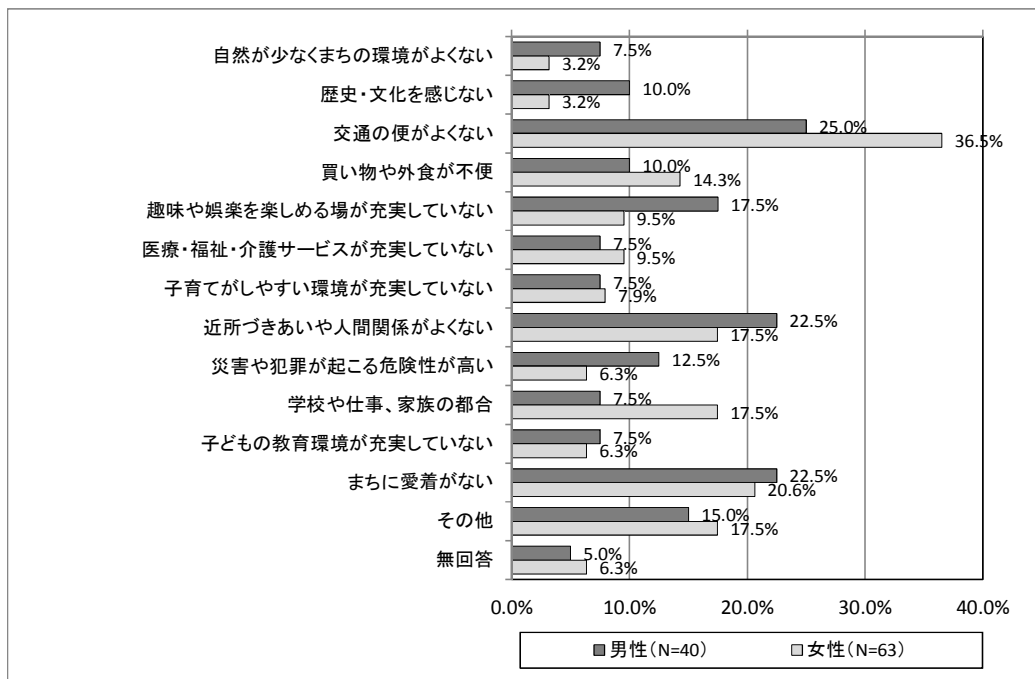
市に住み続けたいと思わない主な理由としては、「交通の便がよくない」が 32.0%と最も多く、次いで「まちに愛着がない」が 21.4%、「近所づきあいや人間関係がよくない」が 19.4%となっている。前設問で市に住み続けたい理由として「住み慣れていて愛着がある」と「交通の便が良い」が上位となっていたが、住み続けたくない理由としても同様の事項が相反してあがっている。

Q4 瑞穂市に住み続けたいと思わない主な理由は何ですか？(あてはまるもの2つまで)



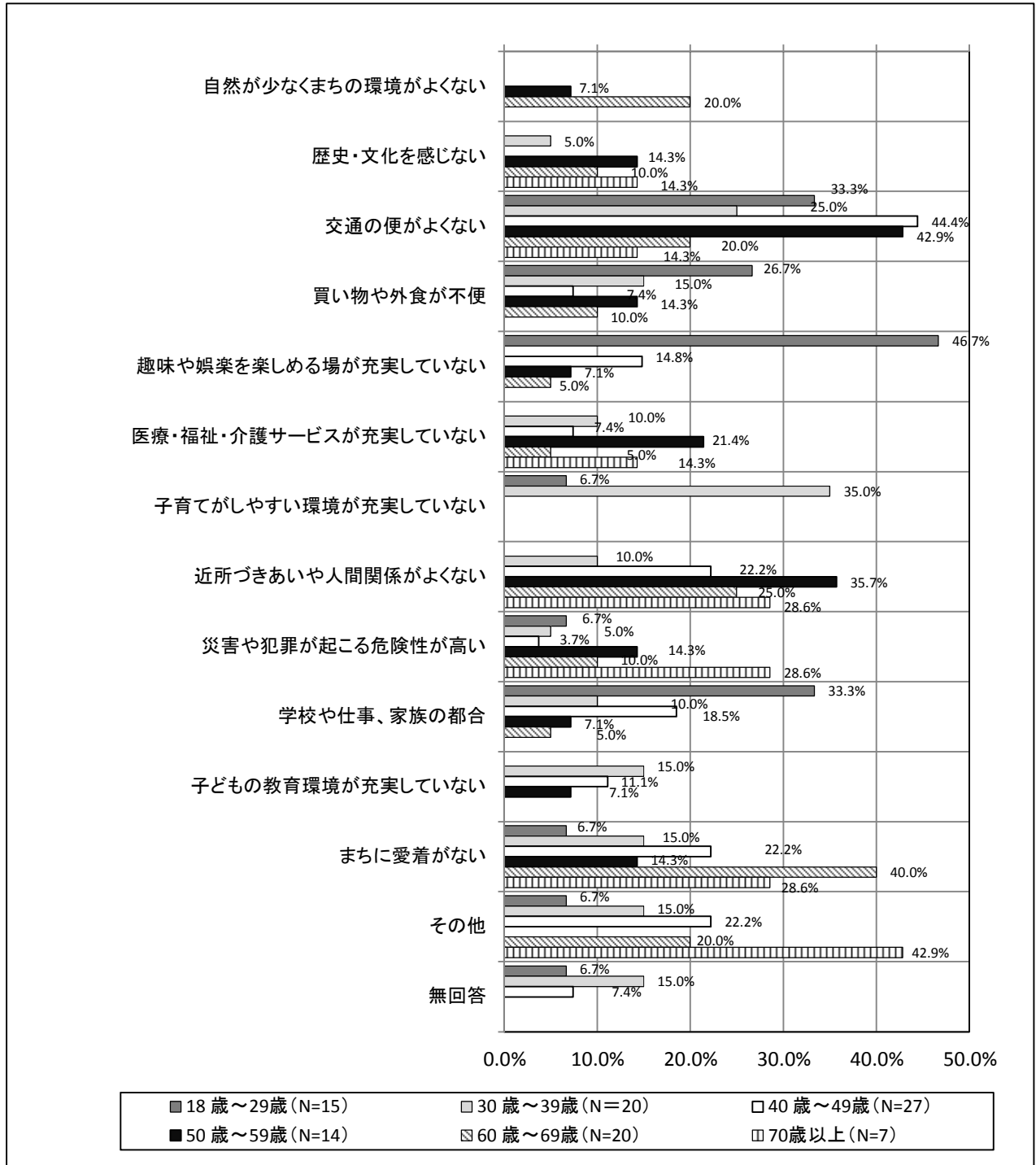
(性別)

性別でみると、「交通の便がよくない」、「学校や仕事、家族の都合」は女性の方が高く、「近所づきあいや人間関係がよくない」、「趣味や娯楽を楽しめる場が充実していない」、「災害や犯罪が起こる危険性が高い」、「歴史・文化を感じない」は男性の方が高くなっている。



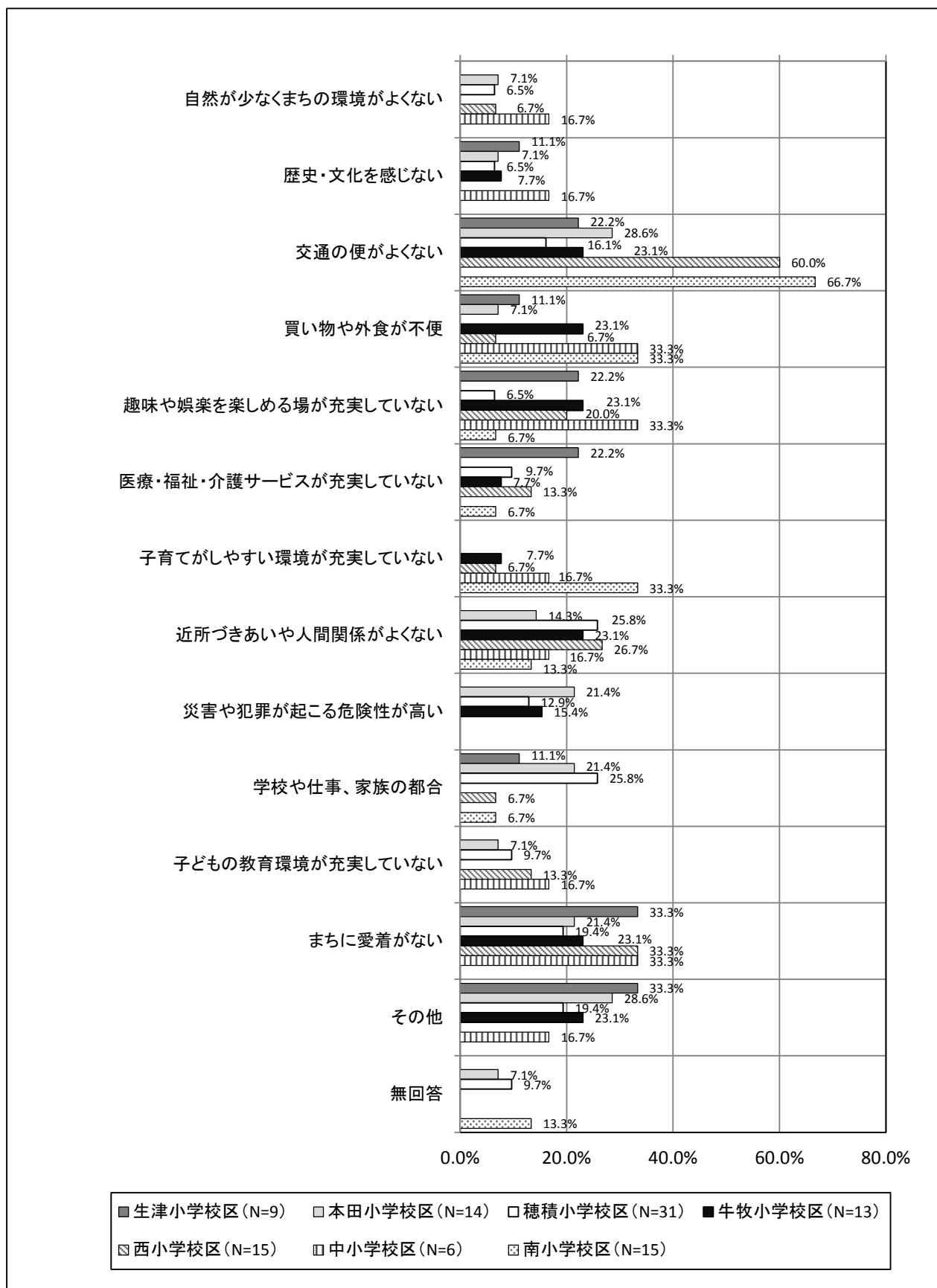
(年齢別)

年齢別でみると、それぞれ最も多い項目は、18歳～29歳では「趣味や娯楽を楽しめる場が充実していない」が46.7%、30歳～39歳では「子育てがしやすい環境が充実していない」が35.0%、40歳～49歳と50歳～59歳では「交通の便がよくない」が44.4%と42.9%、60歳～69歳では「まちに愛着がない」が40.0%、70歳以上では「近所づきあいや人間関係がよくない」、「災害や犯罪が起こる危険性が高い」、「まちに愛着がない」が28.6%となっており、世代によって差がある。



(居住地別)

居住地別でみると、西小学校区と中小学校区で「交通の便がよくない」が非常に多く、60%を超えている。

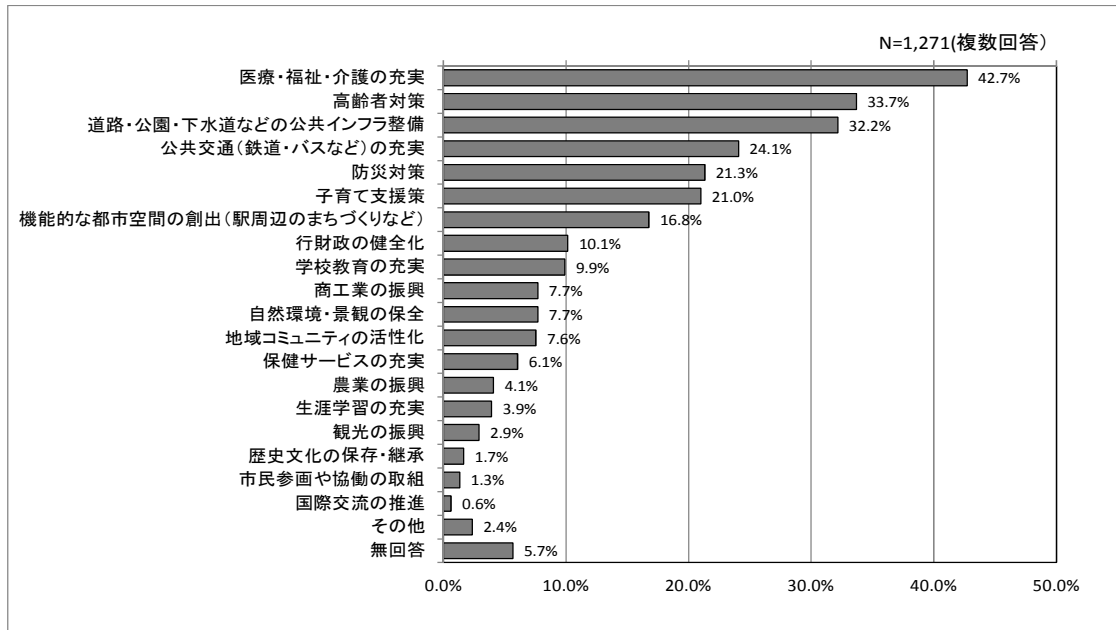


(3) 今後の暮らしについて

① 今後 10 年間のまちづくりにおいて重点的に取り組むべき事項

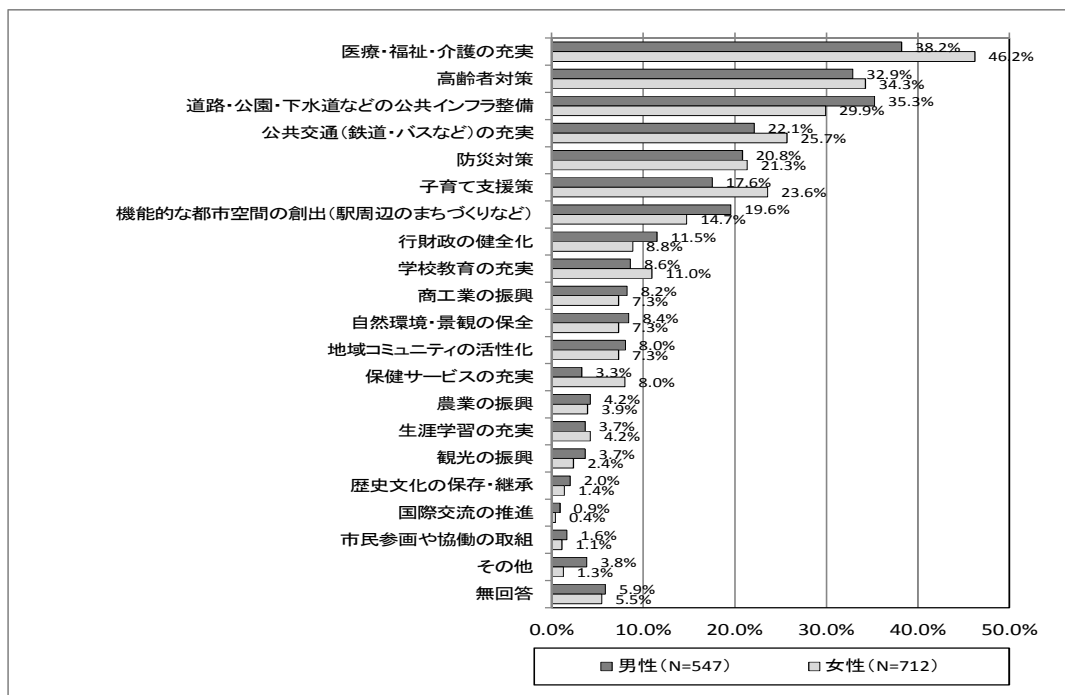
重点的に取り組むべき事項としては、「医療・福祉・介護の充実」「高齢者対策」「子育て支援策」などの福祉関連が上位を占めた。「医療・福祉・介護の充実」が 42.7%と最も多く、次いで「高齢者対策」が 33.7%、「道路・公園・下水道などの公共インフラ整備」が 32.2%、「公共交通（鉄道・バスなど）の充実」が 24.1%、「防災対策」が 21.3%、「子育て支援策」が 21.0%となっている。

Q5 瑞穂市の「今後 10 年間のまちづくり」において特に重点的に取り組むべきだと思うものは何ですか？(あてはまるもの3つまで)



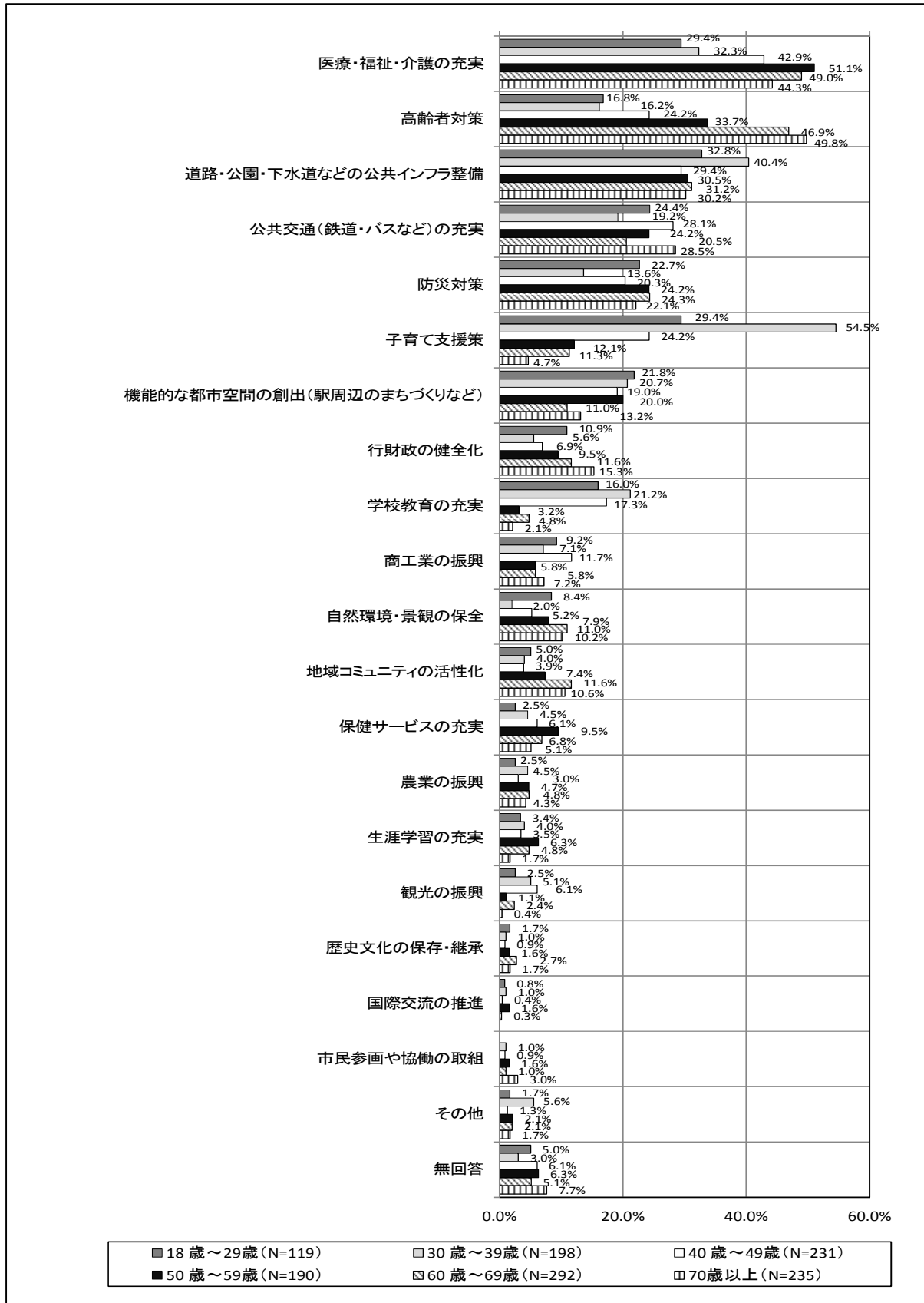
(性別)

性別で見ると、「医療・福祉・介護の充実」や「子育て支援策」、「公共交通の充実」などでは女性の方が多く、「道路・公園・下水道などの公共インフラ整備」などでは男性の方が多くなっている。



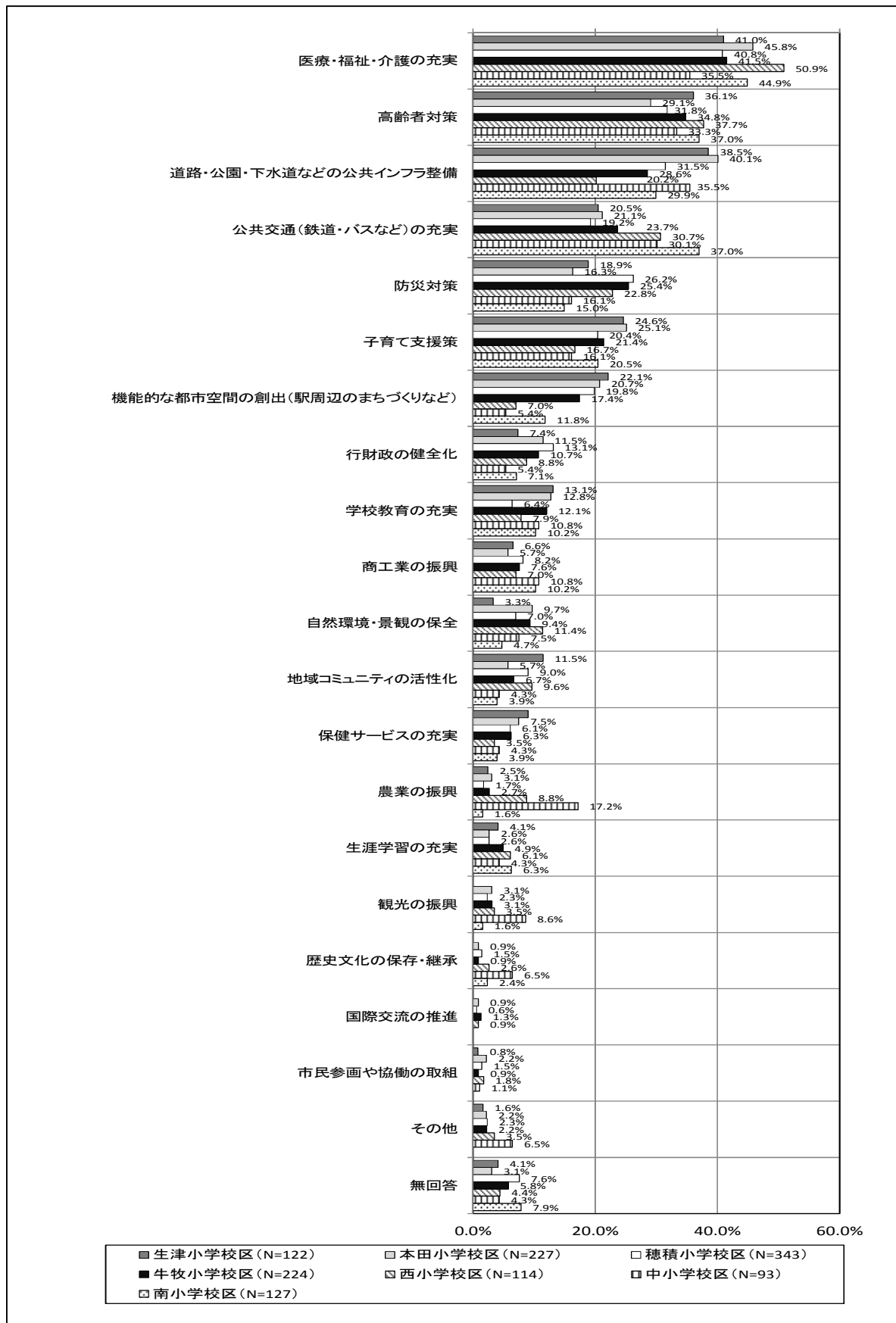
(年齢別)

年齢別でみると、30歳～39歳では「子育て支援策」が多く、この年齢層の半数以上（54.5%）が重点的に取り組むべき事項として回答している。50歳以上では「医療・福祉・介護の充実」や「高齢者対策」が多くなっている。



(居住地別)

「公共交通の充実」は、西小学校区、中小小学校区、南小学校区で多く、「機能的な都市空間の創出」は生津小学校区、本田小学校区、穂積小学校区、牛牧小学校区で多くなっている。

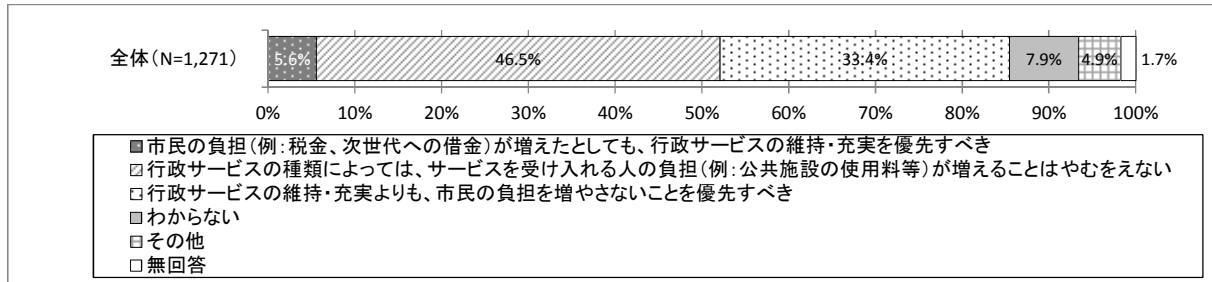


(4) 行政サービスについて

①行政サービスの水準と市民負担のあり方

行政サービスの水準と市民負担のあり方については、「行政サービスの種類によっては、サービスを受け入れる人の負担が増えることはやむをえない」が46.5%と最も多く、次いで「行政サービスの維持・充実よりも、市民の負担を増やさないことを優先すべき」が33.4%となっている。一方、「市民の負担が増えたとしても、行政サービスの維持・充実を優先すべき」は5.6%となっている。

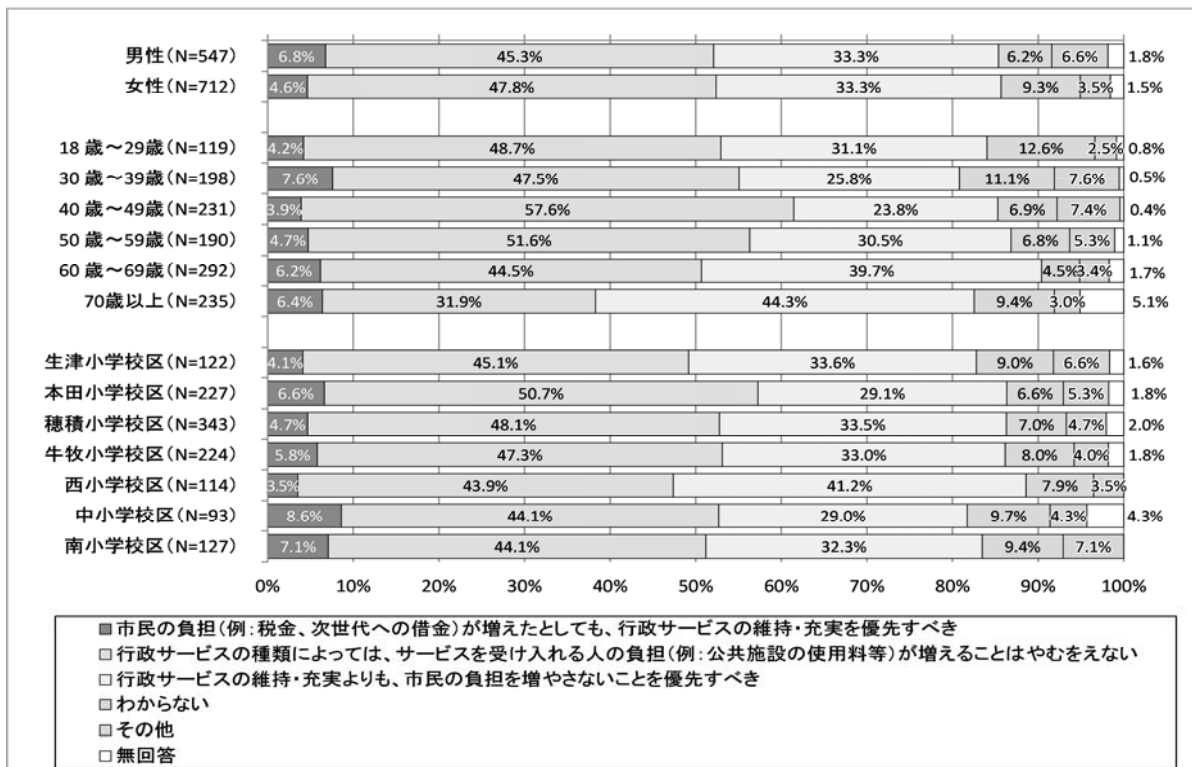
Q7 市の財政状況が厳しくなる中、これからの行政サービスの水準と市民負担のあり方についてどう思いますか？



(性別・年齢別・居住地別)

年齢別で見ると、「行政サービスの種類によっては、サービスを受け入れる人の負担が増えることはやむをえない」は40歳～49歳で57.6%と多く、「行政サービスの維持・充実よりも、市民の負担を増やさないことを優先すべき」は60歳～69歳で39.7%、70歳以上で44.3%と高齢層で多くなっている。特に75歳以上では、「行政サービスの維持・充実よりも、市民の負担を増やさないことを優先すべき」が最も多くなっている。

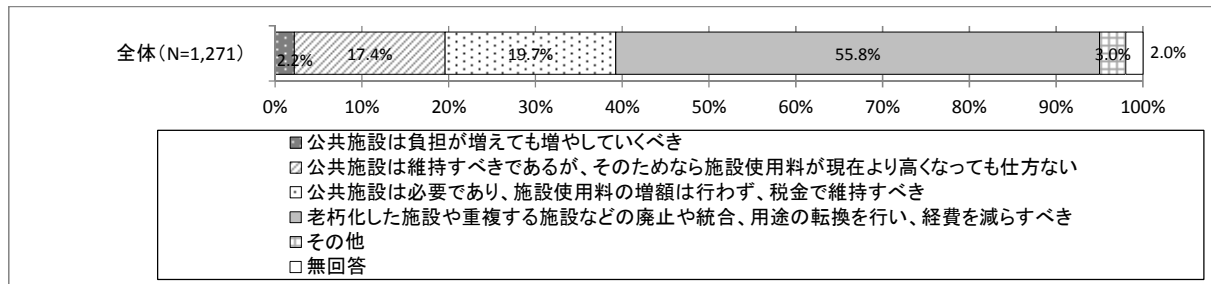
居住地別で見ると、「行政サービスの種類によっては、サービスを受け入れる人の負担が増えることはやむをえない」は本田小学校区で50.7%と多く、「行政サービスの維持・充実よりも、市民の負担を増やさないことを優先すべき」は西小学校区で41.2%と多くなっている。



②市の公共施設のあり方

今後の公共施設のあり方については、「老朽化した施設や重複する施設などの廃止や統合、用途の転換を行い、経費を減らすべき」が55.8%と最も多く、次いで「公共施設は必要であり、施設使用料の増額は行わず、税金で維持すべき」が19.7%、「公共施設は維持すべきであるが、そのためなら施設使用料が現在より高くなっても仕方ない」が17.4%となっている。

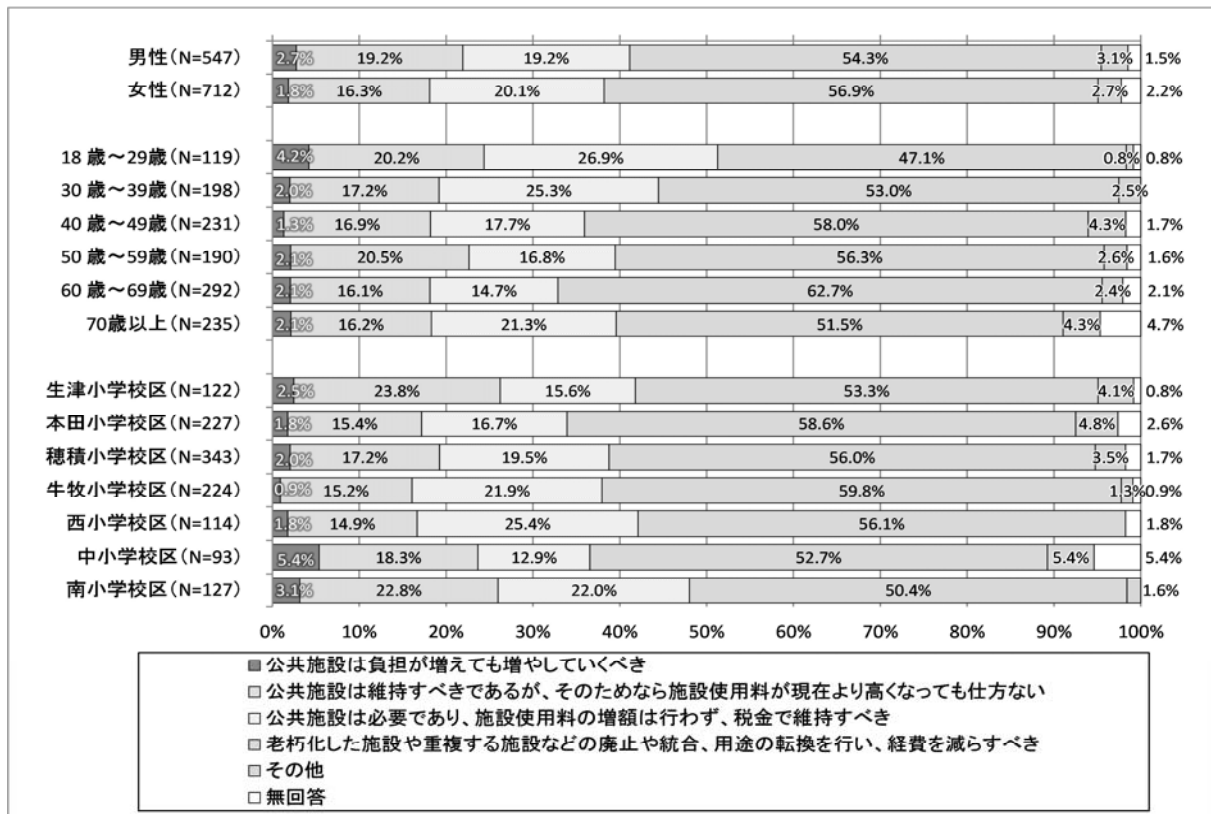
Q8 公共施設（市役所庁舎、学校、公民館などのいわゆるハコモノ）についておたずねします。福祉や医療、子育てなど、将来に向けて必要な行政サービスを維持するうえで、今後の瑞穂市の公共施設のあり方についてあなたのお考えに近いのはどれですか？



(性別・年齢別・居住地別)

年齢別で見ると、「老朽化した施設や重複する施設などの廃止や統合、用途の転換を行い、経費を減らすべき」は29歳以下では47.1%と過半数を下回っている。また、50歳～59歳と60歳～69歳では「公共施設は維持すべきであるが、そのためなら施設使用料が現在より高くなっても仕方ない」が「公共施設は必要であり、施設使用料の増額は行わず、税金で維持すべき」より多くなっている。

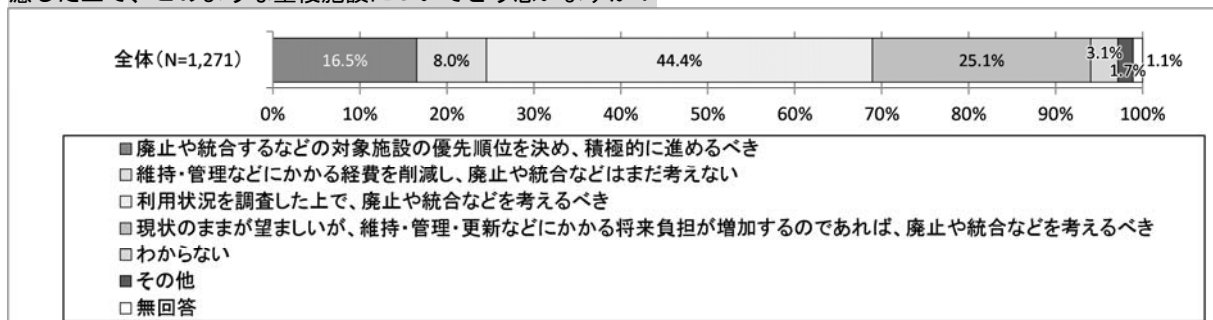
居住地別で見ると、いずれの地域も、「老朽化した施設や重複する施設などの廃止や統合、用途の転換を行い、経費を減らすべき」が過半数を超えている。生津小学校区と中小小学校区と南小学校区では「公共施設は維持すべきであるが、そのためなら施設使用料が現在より高くなっても仕方ない」が「公共施設は必要であり、施設使用料の増額は行わず、税金で維持すべき」より多くなっている。



③重複施設について

重複施設について、「利用状況を調査した上で、廃止や統合などを考えるべき」が 44.4%と最も多く、次いで「現状のままが望ましいが、維持・管理・更新などにかかる将来負担が増加するのであれば、廃止や統合などを考えるべき」（以下、「将来負担が増加するならば廃止や統合などを考えるべき」）が 25.1%、「廃止や統合するなどの対象施設の優先順位を決め、積極的に進めるべき」（以下、「優先順位を決め、積極的に進めるべき」）が 16.5%となっており、あわせて 86.0%の人がなんらかの形で廃止や統合を進めてもよいと考えていることがわかる。一方、「維持・管理などにかかる経費を削減し、廃止や統合などはまだ考えない」は 8.3%となっている。

Q9 合併して 12 年が経過しましたが、公共施設の中でも同じ機能を持った施設（重複施設、例えば市役所・図書館・公民館など）が複数あります。建物など老朽化に伴う維持・管理・更新（改修を含む）などにかかる将来負担を考慮した上で、このような重複施設についてどう思いますか？

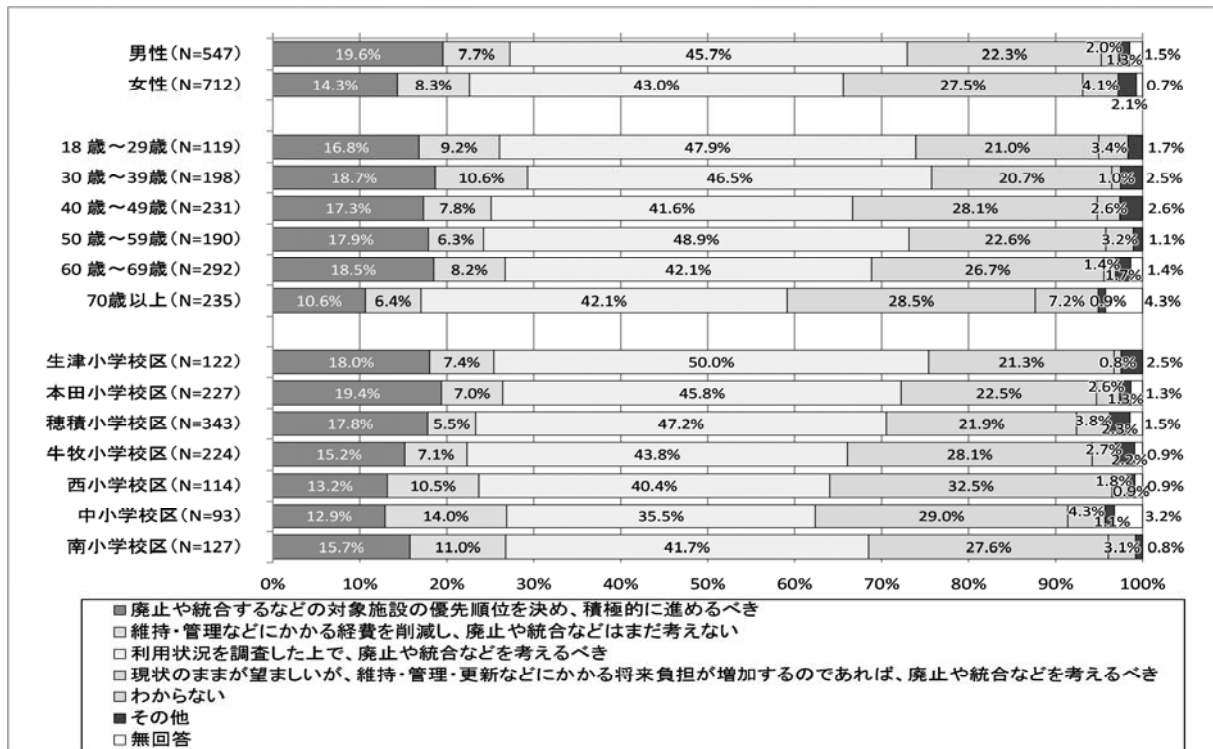


(性別・年齢別・居住地別)

性別でみると、「優先順位を決め、積極的に進めるべき」は男性の方が多く、「将来負担が増加するならば廃止や統合などを考えるべき」は女性の方が多くなっている。

年齢別でみると、「優先順位を決め、積極的に進めるべき」は 70 歳以上で 10.6%と少なくなっている。

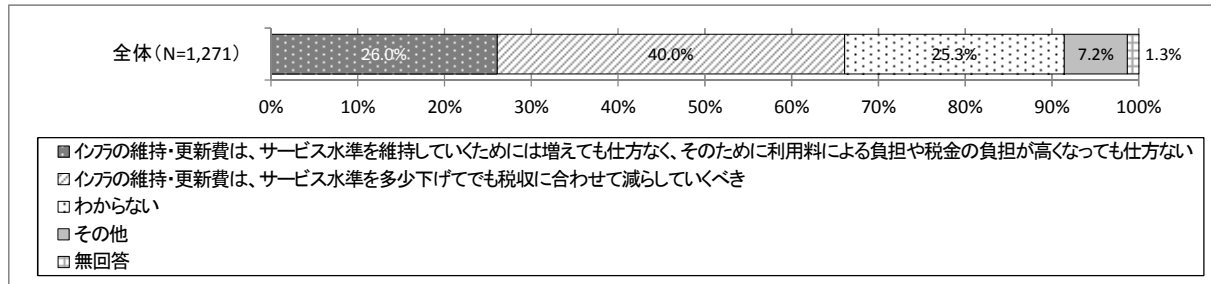
居住地別でみると、中小学校区では「維持・管理などにかかる経費を削減し、廃止や統合などはまだ考えない」(14.0%)が「優先順位を決め、積極的に進めるべき」(12.9%)より多くなっている。



④今後のインフラのあり方について

今後のインフラの維持・更新費は、「サービス水準を多少下げても税収に合わせて減らしていくべき」（以下、「サービス水準を下げても減らしていくべき」）が 40.0%と最も多く、次いで「サービス水準を維持していくためには増えても仕方なく、そのために利用料による負担や税金の負担が高くなって仕方ない」（以下、「負担が増えても仕方ない」）が 26.0%となっている。また、「わからない」が 25.3%となっている。

Q10 瑞穂市の人口は微増傾向にあります。いずれ人口減少、少子高齢化に移行するものと推測されます。瑞穂市のインフラ（道路や上下水道、公共交通）について、将来に向けて必要な行政サービスを維持するうえで、今後の本市のインフラのあり方についてあなたのお考えに近いのはどれですか？

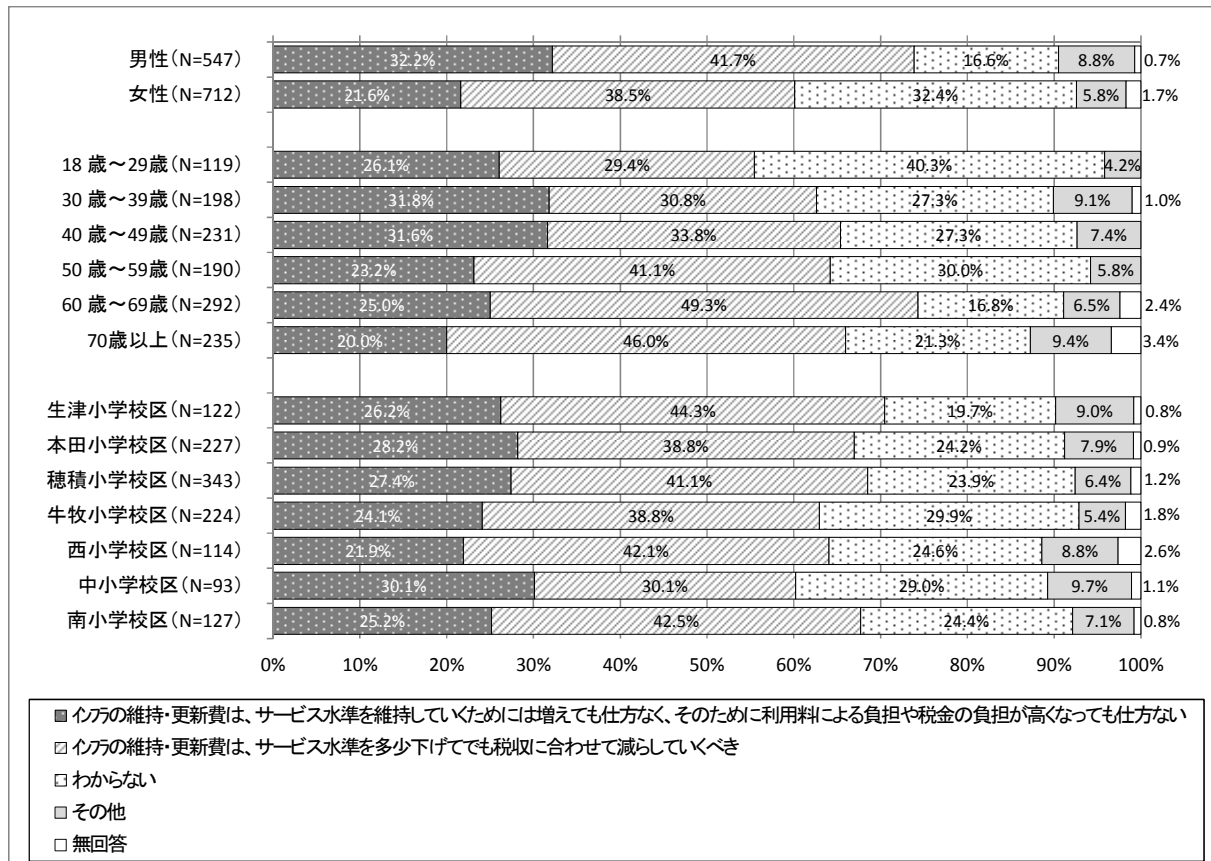


(性別・年齢別・居住地別)

性別で見ると、女性で「わからない」が多くなっている。

年齢別で見ると、50歳未満では、「サービス水準を下げても減らしていくべき」と「負担が増えても仕方ない」は同程度となっている。一方で、50歳以上では、「サービス水準を下げても減らしていくべき」が「負担が増えても仕方ない」の2倍程度と多くなっている。

居住地別で見ると、中小学校区では、「サービス水準を下げても減らしていくべき」と「負担が増えても仕方ない」は同程度となっており、それ以外の地域では後者の方が多くなっている。

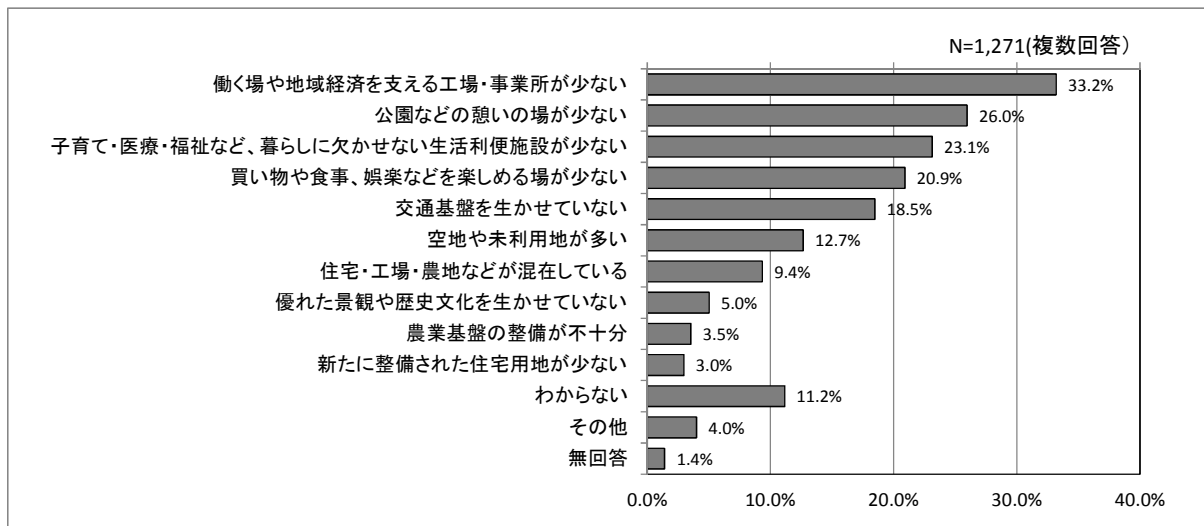


(5) 土地利用について

①土地利用の仕方について

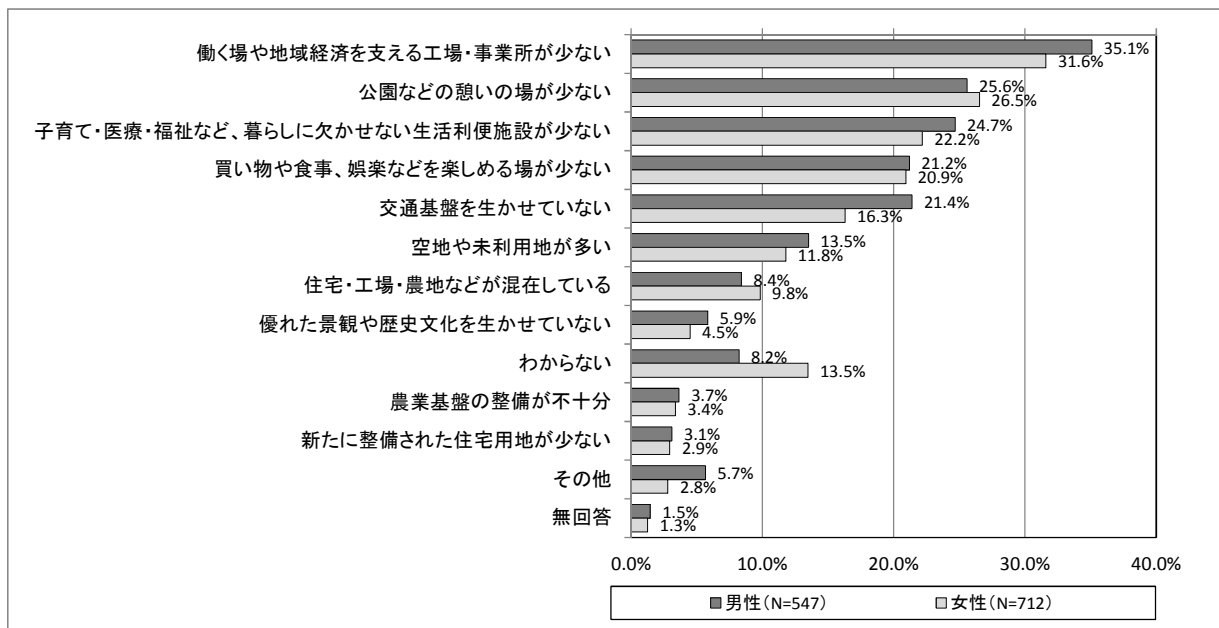
土地利用の仕方については、「働く場や地域経済を支える工場・事業所が少ない」が 33.2%と最も多く、次いで「公園などの憩いの場が少ない」が 26.0%、「子育て・医療・福祉など、暮らしに欠かせない生活利便施設が少ない」が 23.1%、「買い物や食事、娯楽などを楽しめる場が少ない」が 20.9%となっている。

Q11 市全体の土地利用の仕方についてどう思いますか？（あてはまるもの2つまで）



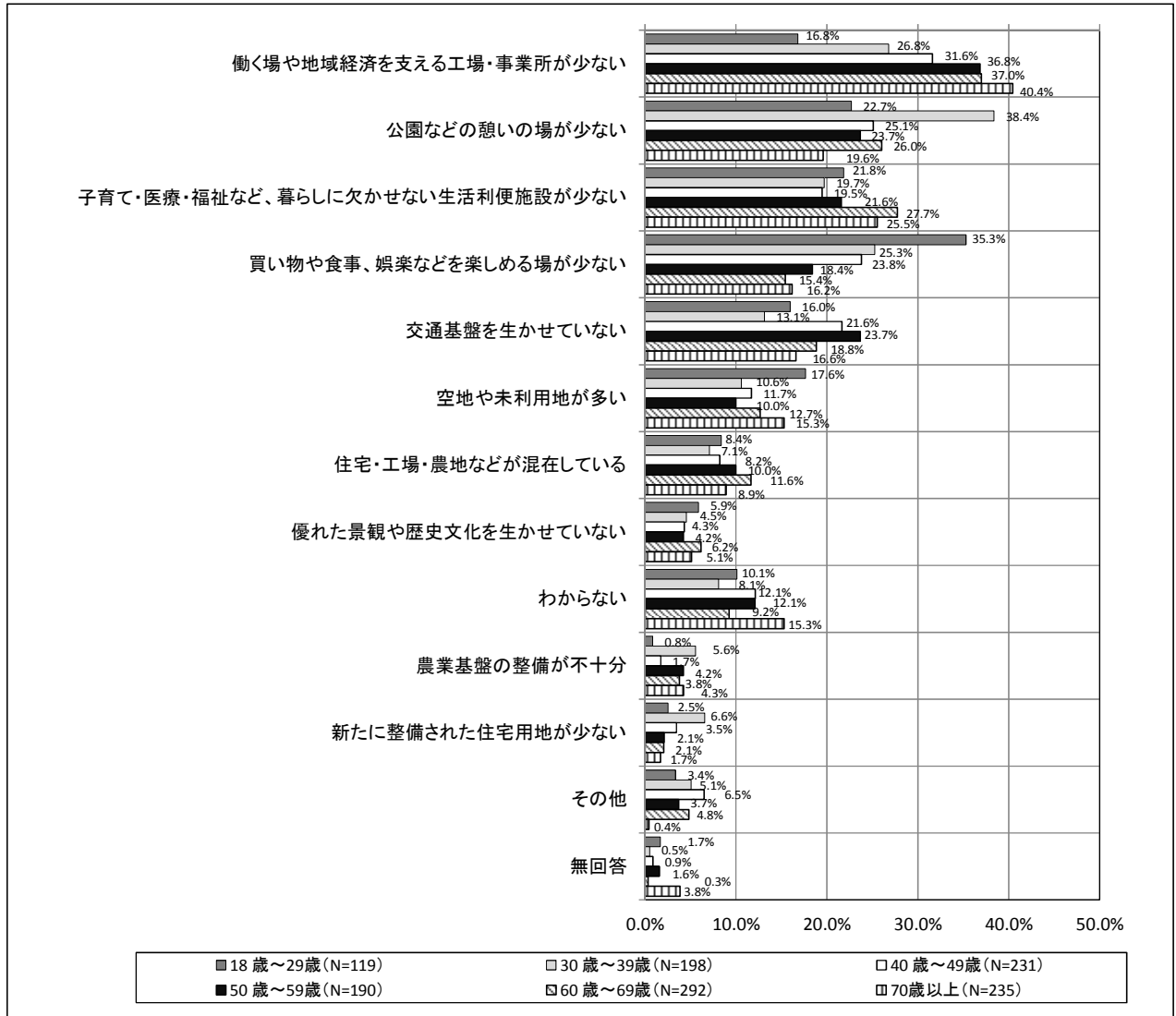
(性別)

性別にみると、「働く場や地域経済を支える工場・事業所が少ない」や「交通基盤を生かしていない」などでは男性の方が多くなっている。



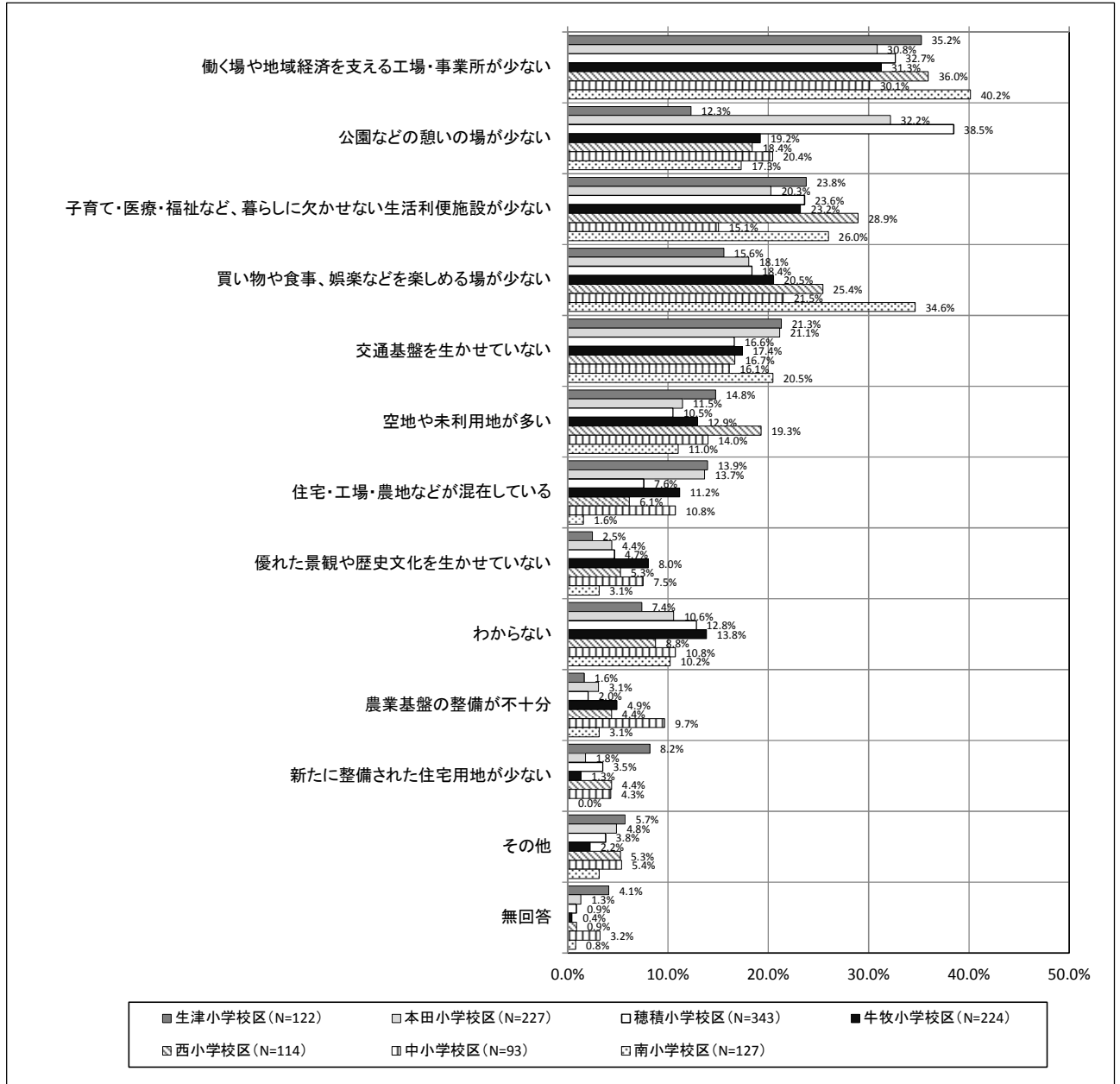
(年齢別)

年齢別でみると、「働く場や地域経済を支える工場・事業所が少ない」は年齢があがるほど多くなっており、「買い物や食事、娯楽などを楽しめる場が少ない」は年齢がさがるほど多くなっている。また、「公園などの憩いの場が少ない」は30歳～39歳で多くなっている。



(居住地別)

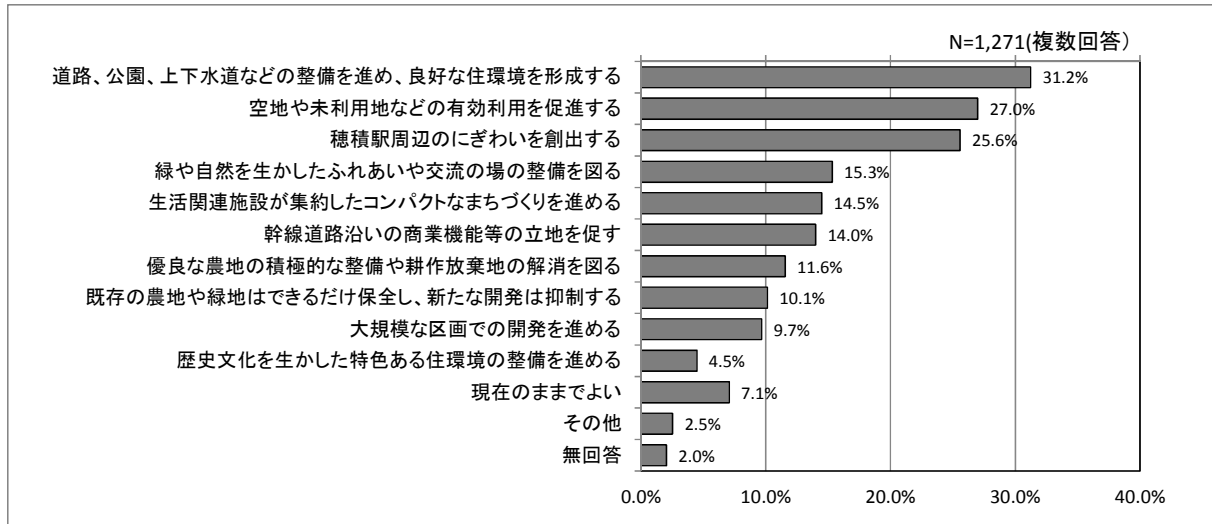
居住地別でみると、本田小学校区と穂積小学校区では、「公園などの憩いの場が少ない」が最も多く、それ以外の地域では「働く場や地域経済を支える工場・事業所が少ない」が最も多くなっている。その他、南小学校区では「買い物や食事、娯楽などを楽しめる場が少ない」が多く、西小学校区では「子育て・医療・福祉など、暮らしに欠かせない生活利便施設が少ない」が多くなっている。



②市の活性化に必要な土地利用について

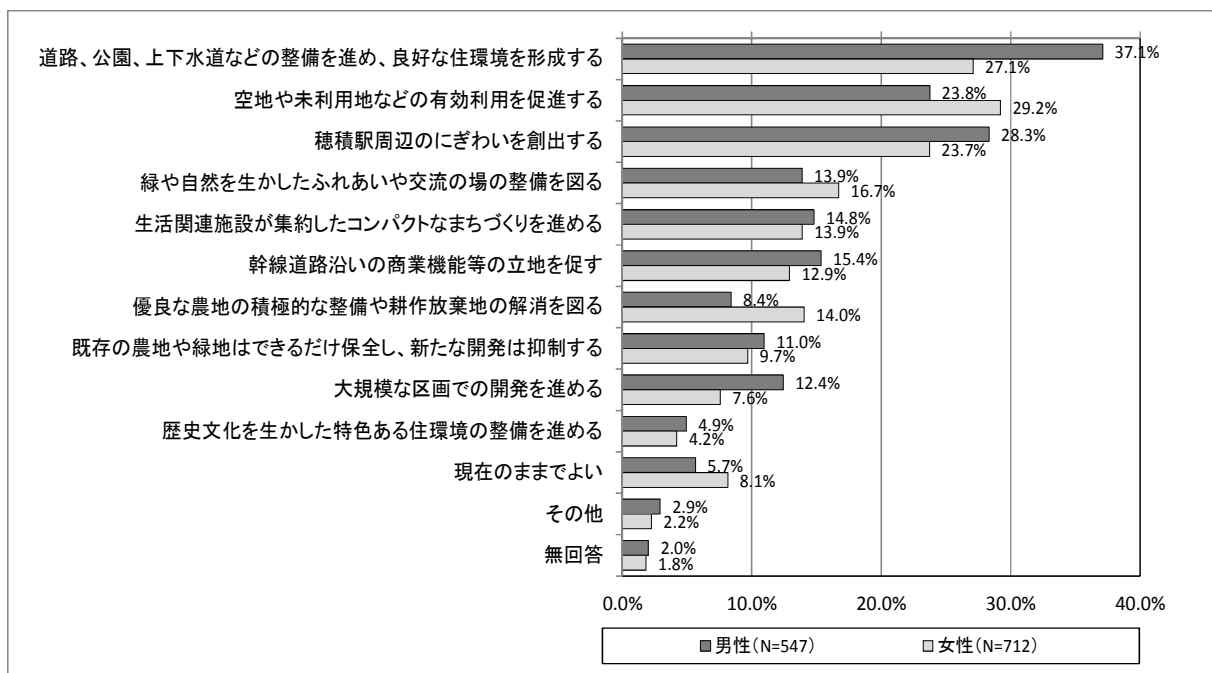
今後、市の活性化に必要な土地利用としては、「道路、公園、上下水道などの整備を進め、良好な住環境を形成する」が31.2%と最も多く、次いで「空地や未利用地などの有効利用を促進する」が27.0%、「穂積駅周辺のにぎわいを創出する」が25.6%となっている。一方、「現在のままでよい」は7.1%となっている。

Q12 今後、市の活性化に必要な土地利用は何だと思えますか？（あてはまるもの2つまで）



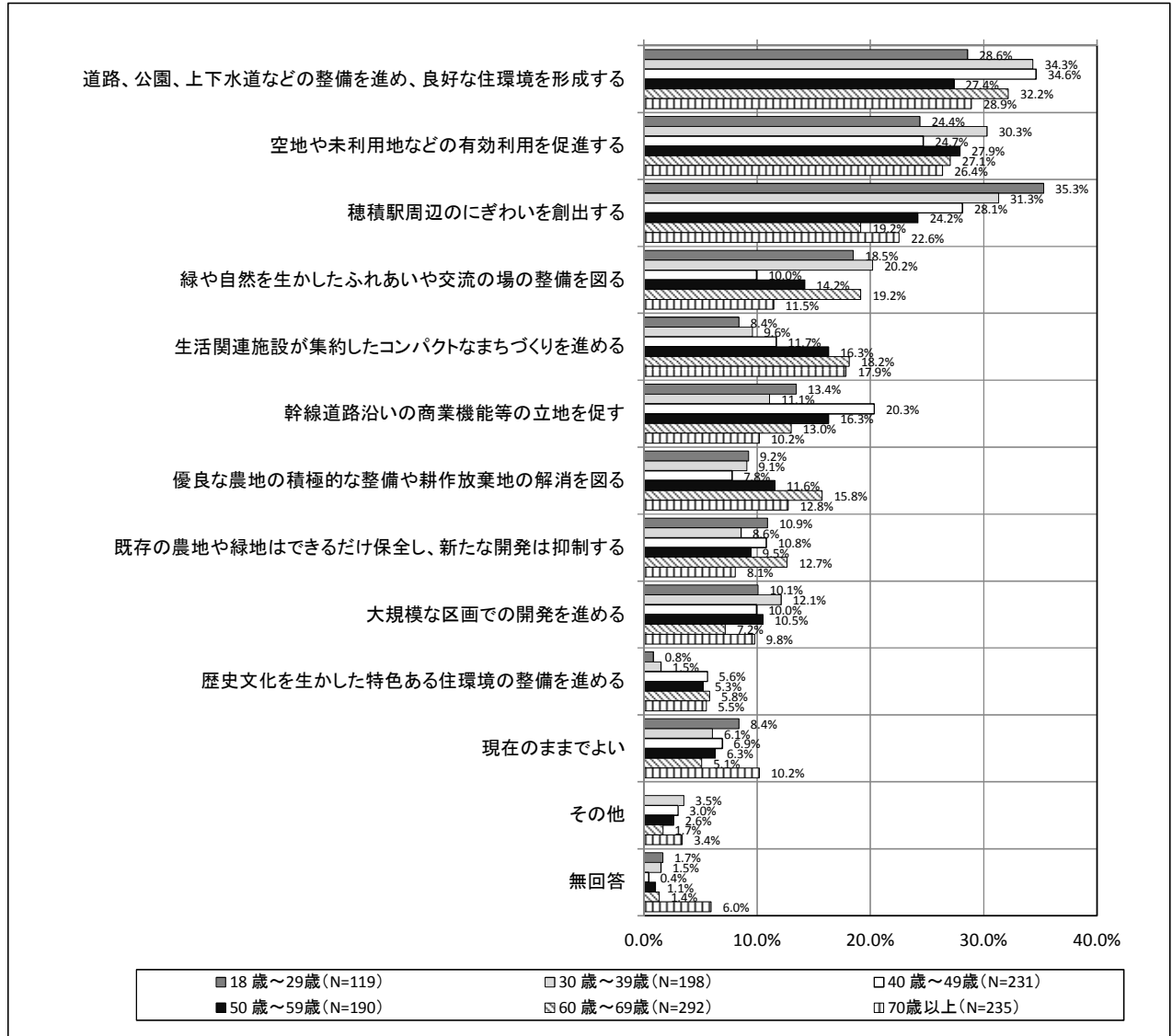
(性別)

性別でみると、「道路、公園、上下水道などの整備を進め、良好な住環境を形成する」や「穂積駅周辺のにぎわいを創出する」、「大規模な区画での開発を進める」などは男性の方が多く、「空地や未利用地などの有効利用を促進する」や「優良な農地の積極的な整備や耕作放棄地の解消を図る」などは女性の方が多くなっている。



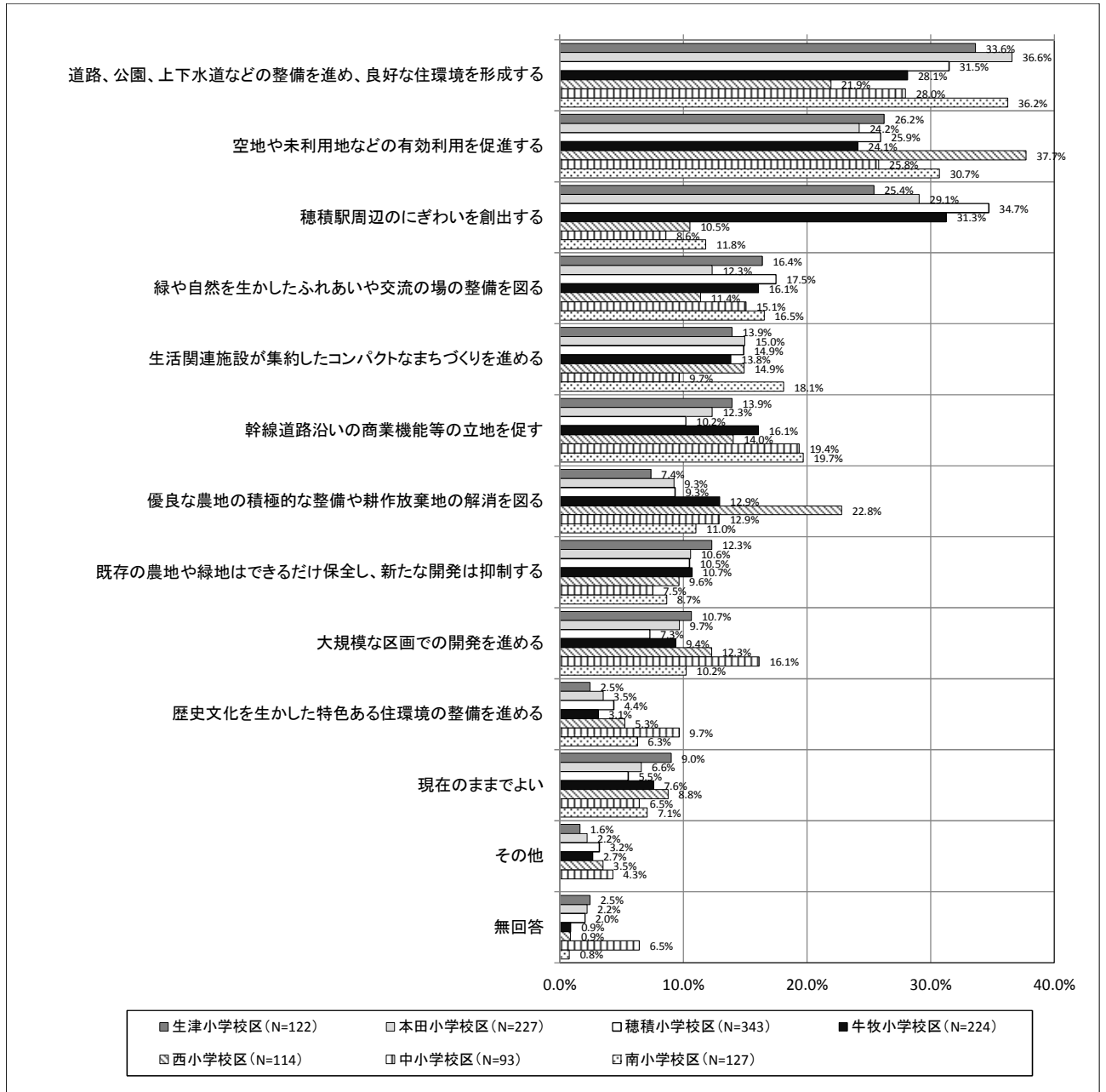
(年齢別)

年齢別でみると、18歳～29歳は「穂積駅周辺のにぎわいを創出する」が最も多く、50歳～59歳は「空地や未利用地などの有効利用を促進する」が最も多く、それ以外の年代は「道路、公園、上下水道などの整備を進め、良好な住環境を形成する」が最も多くなっている。



(居住地別)

居住地別でみると、穂積小学校区と牛牧小学校区では「穂積駅周辺のにぎわいを創出する」が最も多く、西小学校区では「空地や未利用地などの有効利用を促進する」が最も多く、それ以外の居住地では「道路、公園、上下水道などの整備を進め、良好な住環境を形成する」が最も多くなっている。その他、西小学校区では、他の地域と比べて「優良な農地の積極的な整備や耕作放棄地の解消を図る」が多くなっている。

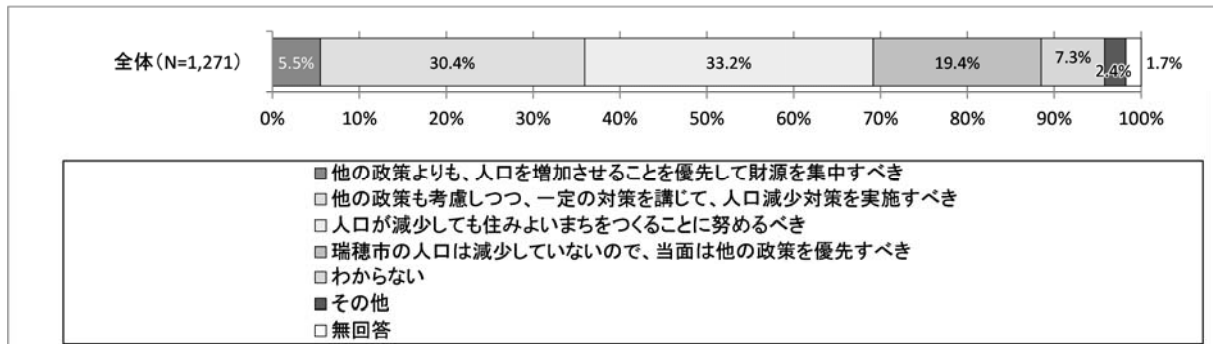


(6) 人口政策の方向性について

①人口政策の考え方について

市の人口政策について、「人口が減少しても住みよいまちをつくることに努めるべき」が 33.2%と最も多く、次いで「他の政策も考慮しつつ、一定の対策を講じて、人口減少対策を実施すべき」が 30.4%、「瑞穂市の人口は減少していないので、当面は他の政策を優先すべき」が 19.4%となっている。人口減少対策を実施しなくてもよいと考える人は 52.6% (33.2%+19.4%) と過半数を超える一方、なんらかの人口減少対策が必要だと考える人は 35.9% (5.5%+30.4%) となっている。

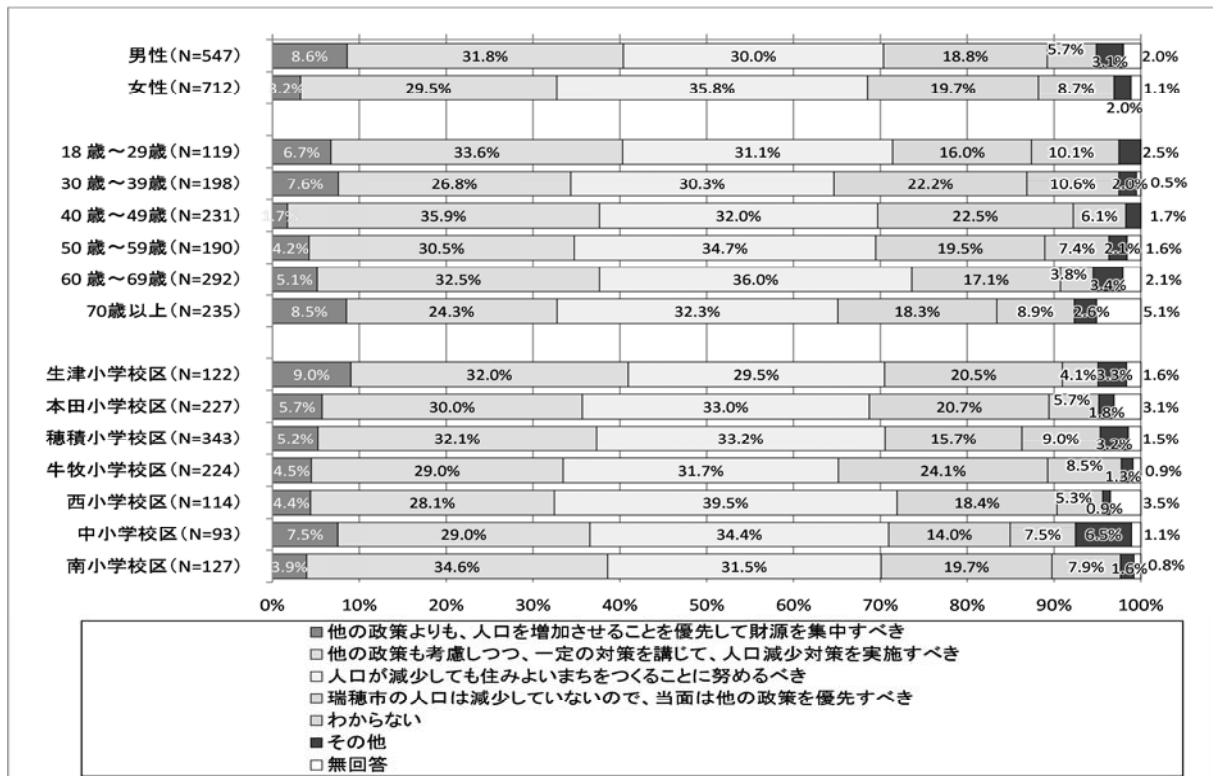
Q13 瑞穂市では、現在も人口の増加傾向が続いていますが、日本全体の人口が減少するなかで、瑞穂市の人口政策について、次のうちの考え方が重要だと思いますか？



(性別・年齢別・居住地別)

性別でみると、男性の方がなんらかの人口減少対策が必要だと考える人が多い。

居住地別でみると、生津小学校区でなんらかの人口減少対策が必要だと考える人が多い。また、他の地域と比べて、中小小学校区で「人口が減少しても住みよいまちをつくることに努めるべき」が多く、西小学校区で「瑞穂市の人口は減少していないので、当面は他の政策を優先すべき」が多くなっている。

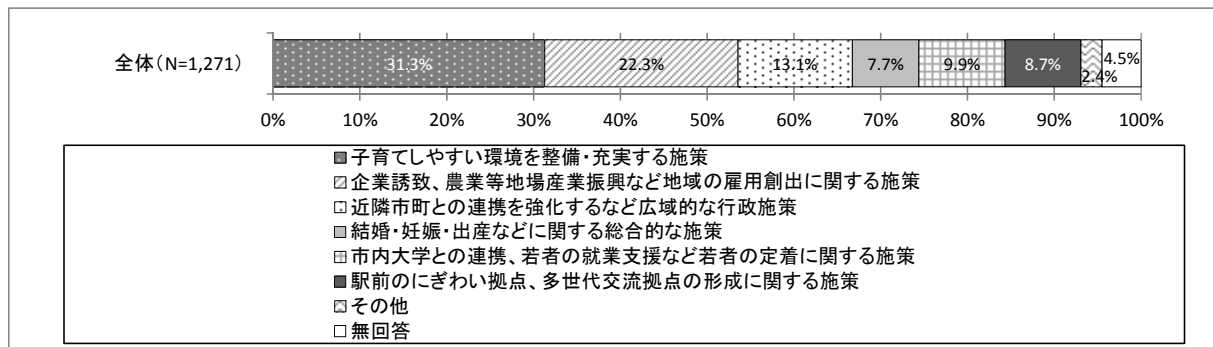


②「まち・ひと・しごと総合戦略」として市が取り組むべき施策

「子育てしやすい環境を整備・充実する施策」が31.3%と最も多く、次いで「企業誘致、農業等
地場産業振興など地域の雇用創出に関する施策」が22.3%、「近隣市町との連携を強化するなど広
域的な行政施策」が13.1%となっている。

Q14 国では、急速な少子高齢化の進展による人口減少問題に対応していくための国家戦略（「まち・ひと・しごと総合戦略」）の作成が進められており、瑞穂市においても「人口ビジョン」や「地方版総合戦略」を策定することが求められています。

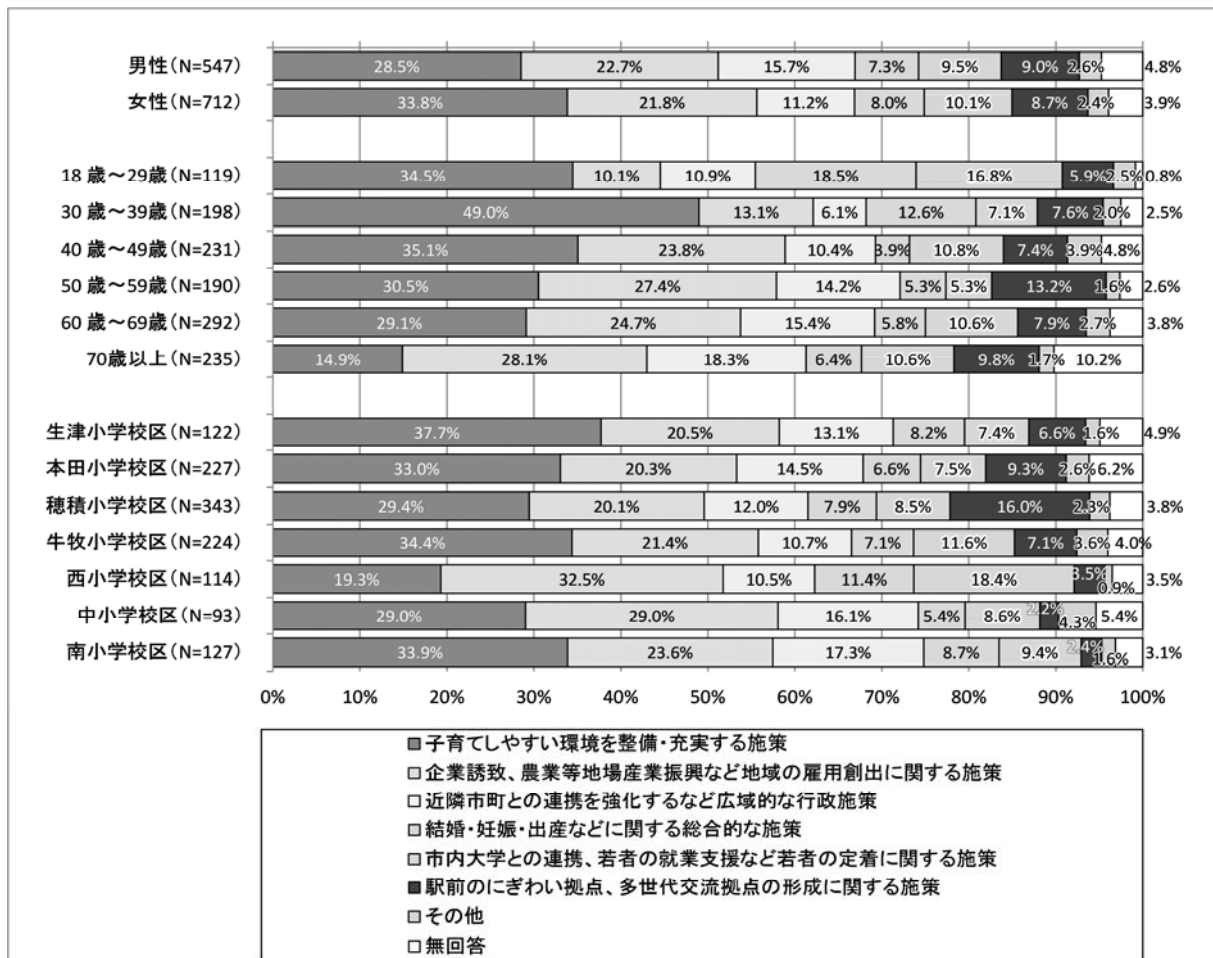
この「まち・ひと・しごと総合戦略」として瑞穂市が取り組むべきだと思う施策は何だと思いますか？



(性別・年齢別・居住地別)

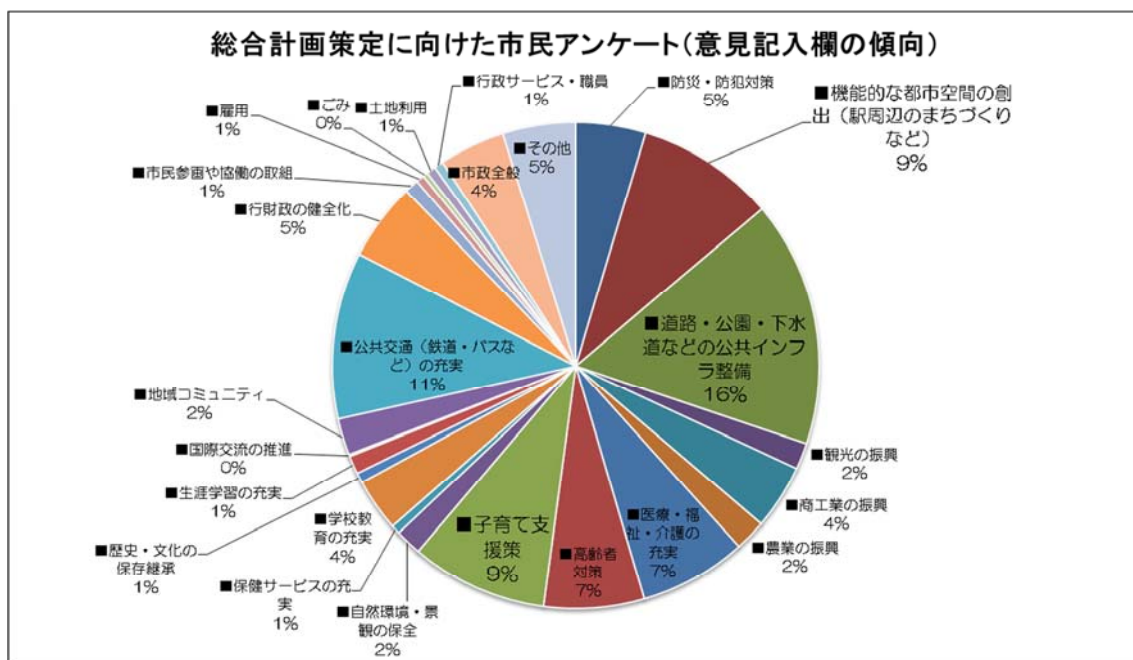
年齢別でみると、30歳～39歳で「子育てしやすい環境を整備・充実する施策」が49.0%と多く、70歳以上で「企業誘致、農業等地場産業振興など地域の雇用創出に関する施策」が多くなっている。

居住地別でみると、西小学校区で「企業誘致、農業等地場産業振興など地域の雇用創出に関する施策」が多くなっている。



3 問6及び自由意見

問6（今後10年間のまちづくりに関して重点的に取り組むべき事項の具体的な提案や意見）及び自由意見（内容によって分割し、問6の分野別に整理）について、分野別に意見数の集計を行った。「道路・公園・下水道などの公共インフラ整備」が16%と最も多く、次いで「公共交通の充実」が11%、「機能的な都市空間の創出」「子育て支援」がそれぞれ9%となっている。



分野	意見数
①防災・防犯対策	69
②機能的な都市空間の創出(駅周辺のまちづくりなど)	137
③道路・公園・下水道などの公共インフラ整備	242
④観光の振興	26
⑤商工業の振興	64
⑥農業の振興	31
⑦医療・福祉・介護の充実	106
⑧高齢者対策	99
⑨子育て支援	136
⑩保健サービスの充実	26
⑪自然環境・景観の保全	9
⑫学校教育の充実	62
⑬歴史文化の保存・継承	10
⑭生涯学習の充実	18
⑮国際交流の推進	2
⑯地域コミュニティ	36
⑰公共交通(鉄道・バスなど)の充実	164
⑱行財政の健全化	77
⑲市民参画や協働の取組	14
⑳雇用促進	8
㉑ごみ	5
㉒土地利用	9
㉓行政サービス・職員	9
㉔市政全般・まちづくり	65
㉕その他	72
合計	1,485

自由意見欄	553	38%																			
今後10年間で特に重点的に取り組むべきもの（具体的意見・提案）	884	62%																			
総意見数	1,437	100%																			
■防災・防犯対策	意見数	69	防犯対策に関する意見	街路灯増設の要望	水害対策に関する意見	災害対策の充実に関する意見	防災行政無線放送	交通安全（危険箇所）に関する意見	新駅設置に関する意見	その他											
	25		6	4	4	4	1	3	1	1											
	意見・提案	4.8%	防災意識の向上に関する意見	防災対策の充実に関する意見	水害対策の充実に関する意見	その他															
	44		16	15	9	4															
■機能的な都市空間の創出（駅周辺のまちづくりなど）	意見数	137	駅周辺の交通やアクセスに関する意見	駅・駅周辺の活性化（にぎわい）に関する意見	駅・駅周辺の再開発に関する意見	駅の移転や新駅設置に関する意見	牛牧JRガード下道路に関する意見														
	52		10	24	11	6	1														
	意見・提案	9.5%	駅周辺の交通やアクセスに関する意見	駅・駅周辺の活性化（にぎわい）に関する意見	駅・駅周辺の再開発に関する意見	駅の移転や新駅設置に関する意見															
	85		17	39	17	9															
■道路・公園・下水道などの公共インフラ整備	意見数	242	インフラ整備全般に関する意見	道路の拡幅などに関する意見	公園整備・充実に関する意見	幹線道路などの渋滞に関する意見	歩道整備に関する意見	公共下水道の推進に関する意見	都市ガスに関する意見	駅東マンボに関する意見	牛牧JRガード下道路に関する意見	その他									
	72		11	8	12	3	8	9	2	3	2	14									
	意見・提案	16.8%	インフラ整備全般に関する意見	道路の拡幅などに関する意見	公園整備・充実に関する意見	幹線道路などの渋滞に関する意見	歩道整備に関する意見	公共下水道の推進に関する意見	都市ガスに関する意見	駅東マンボに関する意見	河川の管理に関する意見	その他									
	170		15	7	40	4	15	49	4	2	3	31									
■観光の振興	意見数	26	ご当地PRなど地域活性化に関する意見	中山道・美江寺宿などの歴史、観光資源に関する意見	道の駅などの設置に関する意見	特産品や地域ブランドの振興に関する意見	その他														
	14		8	3	1	1	1														
	意見・提案	1.8%	ご当地PRなど地域活性化に関する意見	中山道・美江寺宿などの歴史、観光資源に関する意見	道の駅などの設置に関する意見	特産品や地域ブランドの振興に関する意見	その他														
	12		3	2	3	2	2														

■商工業の振興	意見数	64	駅周辺の魅力化・再整備・活性化に関する意見	企業誘致に関する意見	雇用創出や雇用環境の確保に関する意見	商業施設の誘致などに関する意見	娯楽施設の誘致などに関する意見	駅の移転に関する意見				
	38		4	14	7	10	2	1				
	意見・提案	4.5%	駅周辺の魅力化・再整備・活性化に関する意見	企業誘致に関する意見	雇用創出や雇用環境の確保に関する意見	商業施設の誘致などに関する意見	その他					
	26		3	6	2	7	8					
■農業の振興	意見数	31	耕作放棄地や空地などの利用に関する意見	富有柿など地域の特産品に関する意見	その他							
	15		8	4	3							
	意見・提案	2.2%	耕作放棄地や空地などの利用に関する意見	富有柿など地域の特産品に関する意見	農業の振興に関する意見	その他						
	16		2	2	8	4						
■医療・福祉・介護の充実	意見数	106	総合病院や市民病院の誘致などに関する意見	医療費助成などに関する意見	障害福祉に関する意見	老人福祉に関する意見	その他					
	21		10	3	2	1	5					
	意見・提案	7.4%	総合病院や市民病院の誘致などに関する意見	医療費助成などに関する意見	障害福祉に関する意見	老人福祉に関する意見	介護サービスなどに関する意見	その他				
	85		24	3	9	12	15	22				
■高齢者対策	意見数	99	バスやタクシーなどの移動手段に関する意見	老人福祉施設や医療機関に関する意見	老人の集いの場などのコミュニティ施設に関する意見	高齢者の働く場などに関する意見	水路・側溝清掃などの負担に関する意見	その他				
	28		6	5	9	2	4	2				
	意見・提案	6.9%	バスやタクシーなどの移動手段に関する意見	老人福祉施設や医療機関に関する意見	独居老人などへの対応に関する意見	高齢者の働く場などに関する意見	高齢者福祉の充実に関する意見	その他				
	71		5	13	8	14	18	13				
■子育て支援策	意見数	135	子育て支援の充実などに関する意見	子育てにかかる経済的支援に関する意見	保育・学童など子どもの預かりサービスに関する意見	児童館の整備に関する意見	公園整備などに関する意見	待機児童に関する意見	幼稚園に関する意見	教育の充実に関する意見	その他	
	45		10	5	5	5	5	2	1	2	10	
	意見・提案	9.4%	子育て支援の充実などに関する意見	子育てにかかる経済的支援に関する意見	保育・学童など子どもの預かりサービスに関する意見	児童館の整備に関する意見	公園整備などに関する意見	待機児童に関する意見	子育て仕事の両立に関する意見	教育の充実に関する意見	その他	
	90		15	13	16	2	2	13	9	1	19	

■自然環境・景観の保全	意見数	26	自然環境などの保全に関する意見	環境美化（ごみ問題）に関する意見	都市景観に関する意見						
	4		2	1	1						
	意見・提案	1.8%	自然環境などの保全に関する意見	環境美化（ごみ問題）に関する意見	都市景観に関する意見	その他					
	22		13	3	1	5					
■保健サービスの充実	意見・提案	9	バスやタクシーなどの移動手段に関する意見	検診費用などの負担に関する意見	総合病院や市民病院の誘致などに関する意見	その他					
	9	0.6%	2	4	1	2					
■学校教育の充実	意見数	52	教育レベルの引き上げに関する意見	高等学校の誘致などに関する意見	土曜授業の回数増加						
	17		10	5	2						
	意見・提案	3.6%	教育レベルの引き上げに関する意見	高等学校の誘致などに関する意見	教員資質に関する意見	教育環境に関する意見	英語教育などの特色教育に関する意見	道徳教育に関する意見	道徳教育に関する意見	その他	
	35		2	7	5	4	11	2	2	2	
■歴史・文化の保存継承	意見・提案	10	歴史・文化の保存継承への取り組みの充実に関する意見	中山道・美江寺宿などの歴史景観保全に関する意見	その他						
	10	0.7%	5	2	3						
■生涯学習の充実	意見・提案	18	生涯学習講座など学習機会の充実に関する意見	総合体育館などの整備に関する意見	施設利用料に関する意見	その他					
	18	1.3%	6	2	2	8					
■国際交流の推進	意見数	2									
	1										
	意見・提案	0.1%									
1											
■地域コミュニティ	意見数	36	地域交流・世代間交流に関する意見	地域イベントに関する意見	水路・側溝清掃などの負担に関する意見	その他					
	17		9	5	1	2					
	意見・提案	2.5%	地域交流・世代間交流に関する意見	地域イベントに関する意見	コミュニティ施設に関する意見	地域活性化に関する意見	その他				
	19		4	2	4	3	6				

■公共交通（鉄道・バスなど）の充実	意見数	164	公共交通の充実に関する意見	樽見鉄道の乗り入れに関する意見	バスの利便性向上に関する意見	駅前活性化に関する意見	その他	
	41		5	3	25	2	6	
	意見・提案	11.4%	公共交通の充実に関する意見	樽見鉄道の乗り入れに関する意見	バスの利便性向上に関する意見	その他		
	123		50	1	70	2		
■行財政の健全化	意見数	77	税負担に関する意見	経費削減などに関する意見	健全な財政運営に関する意見	その他		
	38		11	9	6	12		
	意見・提案	5.4%	税負担に関する意見	経費削減などに関する意見	健全な財政運営に関する意見	その他		
	39		5	15	6	13		
■市民参画や協働の取組	意見数	14						
	11							
	意見・提案	1.0%						
	3							
■雇用	意見数	8	雇用や働く場の確保に関する意見	企業誘致に関する意見				
	8	0.6%	6	2				
■ごみ	意見数	5	ごみ袋の価格に関する意見	ごみ回収方法に関する意見				
	5	0.3%	3	3				
■土地利用	意見数	9	空地や未利用地の有効活用に関する意見	商業施設等の誘致に関する意見	農地など用途変更に関する意見			
	9	0.6%	3	3	3			
■行政サービス・職員	意見数	9	広報やHPへの充実に関する意見	市役所のサービスに関する意見				
	9	0.6%	3	6				
■市政全般	意見数	65	地域の活性化に関する意見	近隣市町などとの連携に関する意見	若者の定住に関する意見	公共施設に関する意見	空家対策、住宅施策に関する意見	その他
	65	4.5%	11	5	4	8	9	28
■その他	意見数	72						
	44							
	意見・提案	5.0%						
	28							

4 アンケート調査票

瑞穂市第2次総合計画策定に向けた 市民アンケートにご協力をお願いします。

市民の皆様には、日頃より市政に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
瑞穂市では、平成18年度に策定した瑞穂市第1次総合計画に基づき、まちの将来像である「市民参加・協働のまちづくり」の実現に向け取り組みを進めております。

この計画が、平成27年度末をもって終了することから、このたび、平成28年度から始まる「瑞穂市第2次総合計画」の策定を予定しております。

計画の策定にあたっては、市を取り巻く状況の変化や厳しい財政状況を考慮し、限りある行政資源を有効かつ効果的に活用するため、「選択と集中」の視点を持ち、持続可能な都市経営の実現と、地域特性や資源を最大限に活用した将来世代につながる魅力あるまちづくりを進めることを目指しております。

この市民アンケートは、新たな総合計画（瑞穂市第2次総合計画）の策定にあたり、これからのまちづくりを市民の皆様と共に考え共に実践していくため、市民の皆様のご意見を幅広くお伺いし、計画策定に反映させていくことを目的として実施するものです。

このたび、平成26年12月1日現在の住民基本台帳から18歳以上の市民3,300人の方を無作為に選ばせていただき、そのお一人としてあなたにご回答をお願いすることになりました。回答の結果は、統計的な数値として集計し、市のホームページなどで公表させていただく予定ですが、無記名回答方式のため、個人に関わる情報が公表されることは決してございません。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、まちの未来をつくるため、あなたの声をお聞かせいただきますよう是非ともご協力をお願いいたします。

平成27年2月

瑞穂市長 堀 孝 正

～記入にあたってのお願い～

- ① お送りした封筒の宛名のご本人がお答えください。なお、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人のお考えを聞きながら記入してください。
- ② ご住所やお名前を記入していただく必要はありません。
- ③ 回答は、質問ごとに用意した選択肢の中からあてはまる番号に○印をつけてください。各質問には「1つ選んで○」「2つまで選んで○」などの指定がありますので注意してください。
- ④ 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが（ ）に具体的な内容を記入してください。
- ⑤ 記入は、黒のボールペン、または鉛筆でお願いします。
- ⑥ 記入していただきました市民アンケートは、2月23日（月）までに、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、ポストに投函してください。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

住 所：瑞穂市別府 1228 番地
瑞穂市役所 企画部 企画財政課
TEL：058-327-4128 FAX：058-327-4103
E-mail：kikaku@city.mizuho.lg.jp



■市民アンケート

I あなた自身のことについておたずねします。

(あてはまる番号に○を付けてください。)

(1) 性別	1. 男性 2. 女性
(2) 年齢	1. 18歳～29歳 2. 30歳～39歳 3. 40歳～49歳 4. 50歳～59歳 5. 60歳～69歳 6. 70歳以上
(3) 家族構成	1. 単身世帯 2. 夫婦のみの世帯 3. 親と子の二世帯世帯 4. 親・子・孫の三世帯世帯 5. その他 ()
(4) 職業	1. 農業 2. 自営業 3. 会社員・公務員・団体職員 4. パート・アルバイト 5. 専業主婦(主夫) 6. 無職 7. 学生 8. その他 ()
(5) 居住年数	1. 5年未満 2. 5年～9年 3. 10年～19年 4. 20年～29年 5. 30年以上 【市外から転入された方におたずねします。】 ■ 転入前の居住地について下記の1. 2. から選んで○を付け、居住地名等を記入してください。 1. 県 内 (市町村名) 2. 岐阜県以外 (県) ■ 転入される以前にも瑞穂市に居住していたことがありますか？ 1. ある 2. ない
(6) 居住地 (小学校区)	1. 生津小学校区(馬場、生津) 2. 本田小学校区(本田、只越) 3. 穂積小学校区(別府、穂積、稲里) 4. 牛牧小学校区(十九条、牛牧、野田新田、野白新田、宝江、祖父江、犀川、東結) 5. 西小学校区(七崎、居倉、森、田之上、唐栗、宮田、大月) 6. 中小小学校区(重里、美江寺、十七条、十八条) 7. 南小学校区(古橋、横屋、中宮、呂久)

Ⅱ 市への愛着・定住意向

問1 あなたは、瑞穂市に愛着をどの程度感じていますか？

(あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 愛着を感じている | 2. やや感じている |
| 3. あまり感じていない | 4. 感じていない |

問2 あなたは、これからもずっと瑞穂市に住み続けたいと思いますか？

(あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。)

- | | |
|-----|-------------------|
| 問3へ | 1. いつまでも住み続けたい |
| 問4へ | |
| 問5へ | 2. 当分住み続けたい |
| | 3. できれば他市町へ移住したい |
| | 4. すぐにでも他市町へ移住したい |
| | 5. わからない |

問3 瑞穂市に住み続けたいと思う主な理由は何ですか？ (あてはまる番号を2つまで選んで○を付けてください。)	問4 瑞穂市に住み続けたいと思わない主な理由は何ですか？ (あてはまる番号を2つまで選んで○を付けてください。)
1. 自然が多くまちな環境が良い	1. 自然が少なくまちな環境がよくない
2. 歴史・文化を感じる	2. 歴史・文化を感じない
3. 交通の便が良い	3. 交通の便がよくない
4. 買い物や外食が便利	4. 買い物や外食が不便
5. 趣味や娯楽を楽しめる場が充実している	5. 趣味や娯楽を楽しめる場が充実していない
6. 医療・福祉・介護サービスが充実している	6. 医療・福祉・介護サービスが充実していない
7. 子育てがしやすい環境が充実している	7. 子育てがしやすい環境が充実していない
8. 近所づきあいや人間関係が良好	8. 近所づきあいや人間関係がよくない
9. 災害や犯罪が少ない	9. 災害や犯罪が起こる危険性が高い
10. 学校や仕事、家族の都合	10. 学校や仕事、家族の都合
11. 子どもの教育環境が充実している	11. 子どもの教育環境が充実していない
12. 住み慣れていて愛着がある	12. まちに愛着がない
13. その他()	13. その他()

Ⅲ 今後の暮らしについて

問5 瑞穂市の「今後10年間のまちづくり」において特に重点的に取り組むべきだと思うものは何ですか？

(あてはまる番号を3つまで選んで○を付けてください。)

1. 防災対策	2. 機能的な都市空間の創出 (駅周辺のまちづくりなど)
3. 道路・公園・下水道などの 公共インフラ整備	4. 観光の振興
5. 商工業の振興	6. 農業の振興
7. 医療・福祉・介護の充実	8. 高齢者対策
9. 子育て支援策	10. 保健サービスの充実
11. 自然環境・景観の保全	12. 学校教育の充実
13. 歴史文化の保存・継承	14. 生涯学習の充実
15. 国際交流の推進	16. 地域コミュニティの活性化
17. 公共交通(鉄道・バスなど) の充実	18. 行財政の健全化
19. 市民参画や協働の取組	20. その他()

問6 上記問5で選んだ項目番号について、具体的なご提案やご意見などがあれば記入してください。

項目 番号	具体的なご提案・ご意見

V 土地利用について

問11 市全体の土地利用の仕方についてどう思いますか？

(あてはまる番号を2つまで選んで○を付けてください。)

1. 買い物や食事、娯楽などを楽しめる場が少ない
2. 働く場や地域経済を支える工場・事業所が少ない
3. 新たに整備された住宅用地が少ない
4. 公園などの憩いの場が少ない
5. 子育て・医療・福祉など、暮らしに欠かせない生活利便施設が少ない
6. 交通基盤を生かしていない
7. 農業基盤の整備が不十分
8. 優れた景観や歴史文化を生かしていない
9. 空地や未利用地が多い
10. 住宅・工場・農地などが混在している
11. わからない
12. その他 ()

問12 今後、市の活性化に必要と考える土地利用は何だと思えますか？

(あてはまる番号を2つまで選んで○を付けてください。)

1. 穂積駅周辺のにぎわいを創出する
2. 大規模な区画での開発を進める
3. 空地や未利用地などの有効利用を促進する
4. 道路、公園、上下水道などの整備を進め、良好な住環境を形成する
5. 優良な農地の積極的な整備や耕作放棄地の解消を図る
6. 幹線道路沿いの商業機能等の立地を促す
7. 緑や自然を生かしたふれあいや交流の場の整備を図る
8. 生活関連施設が集約したコンパクトなまちづくりを進める
9. 既存の農地や緑地はできるだけ保全し、新たな開発は抑制する
10. 歴史文化を生かした特色ある住環境の整備を進める
11. 現在のままでよい
12. その他 ()

Ⅵ 人口政策の方向性について

問13 瑞穂市では、現在も人口の増加傾向が続いていますが、日本全体の人口が減少するなかで、瑞穂市の人口政策について、次のうちどの考え方が重要だと思いますか？
(あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。)

1. 他の政策よりも、人口を増加させることを優先して財源を集中すべき
2. 他の政策も考慮しつつ、一定の対策を講じて、人口減少対策を実施すべき
3. 人口が減少しても住みよいまちをつくることに努めるべき
4. 瑞穂市の人口は減少していないので、当面は他の政策を優先すべき
5. わからない
6. その他 ()

問14 国では、急速な少子高齢化の進展による人口減少問題に対応していくための国家戦略(「まち・ひと・しごと総合戦略」※)の作成が進められており、瑞穂市においても「人口ビジョン」や「地方版総合戦略」を策定することが求められています。

この「まち・ひと・しごと総合戦略」として瑞穂市が取り組むべきだと思う施策は何だと思いますか？

(あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。)

1. 子育てしやすい環境を整備・充実する施策
2. 企業誘致、農業等地方産業振興など地域の雇用創出に関する施策
3. 近隣市町との連携を強化するなど広域的な行政施策
4. 結婚・妊娠・出産などに関する総合的な施策
5. 市内大学との連携、若者の就業支援など若者の定着に関する施策
6. 駅前のにぎわい拠点、多世代交流拠点の形成に関する施策
7. その他 ()

※「まち・ひと・しごと総合戦略」は、人口減少問題を克服するため、時代にあった地域をつくり、地方における安定した雇用を創出し、東京圏から地方への新しいひとの流れをつくり、若い世代の結婚・出産・育児の希望をかなえることを実現していくための国の総合戦略で、2015年～2019年までの5ヶ年が取り組み期間になります。

問15 瑞穂市の将来や、これからのまちづくりに関するご意見、アイデアなど自由に記入してください。

A large rounded rectangular box with a solid black border and horizontal dashed lines inside, intended for handwritten responses.

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

